

汚染水対策スケジュール (1/2)

資料1-1

分野	活り	対象設備・作業内容	これまで1ヶ月の動きと今後6ヶ月の予定	12月				1月				2月			3月			4月			5月			6月			7月以降	備考	
				11	18	25	1	8	15	22	29	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下			
●原子炉建屋滞留水を2020年末の半分程度に低減(2022~2024年度)	建屋内滞留水	【1~4号機 滞留水移送装置】 (実績) ・1~4号機滞留水移送装置運転 (予定) ・1~4号機滞留水移送装置運転	1~4号機滞留水移送装置設置 運転																							(継続運転)	3号機 原子炉建屋滞留水水位低下(T.P.-2800目)実施 (2022年6月1日~) 【2023年1月26日時点水位 約T.P.-2600】※監視パラメータ異常なし ※段階的に水位低下実施		
		【α核種除去設備検討】	設計・検討	詳細設計・工事																							(2023年度 工事完了予定)		
		【1~4号機 T、B床面スラッジ等の回収方法検討】	設計・検討	設計検討																							(2023年度 設計完了予定)		
		【滞留水一時貯留タンク設計】	設計・検討	詳細設計・工事																							(2024年度 工事完了予定)		
		【プロセス主建屋・高温焼却建屋セオライト土質の検討】	設計・検討	詳細設計・工事																							(2024年内 工事完了予定)	大規模モックアップ (2022年10月~)	
●汚染水発生量を100m3/日以下に抑制(2025年内)	浄化設備	【既設多核種除去設備】 【高性能多核種除去設備】 【増設多核種除去設備】 (実績) ・処理運転 (予定) ・処理運転	処理運転(処理水の状況に応じて適宜運転または処理停止) 多核種除去設備 連絡配管設置工事																							(継続運転)	処理水及びタンクのインサービス状況に応じて適宜運転または処理停止 増設多核種除去設備 前処理設備改造に係る実施計画変更申請 (2022年4月28日認可) 高性能多核種除去設備 除去性能確認に係る実施計画変更申請 (2022年9月28日認可) 使用前検査 : 2022年11月30日 使用前検査予定 : 2023年2月 多核種除去設備 連絡配管設置に係る実施計画変更申請 (2022年4月28日認可) 使用前検査 : 2022年12月9日終了証発行 2023年4月インサービス予定		
		【サブドレン浄化設備】 (実績) (予定) ・処理運転	処理運転																								(継続運転)	サブドレン及び上げ、運用開始 (2015年9月3日~) 排水開始 (2015年9月14日~) 5号機サブドレンの復旧・及び上げ・運用開始 (2022年3月~)	
		【地下水バイパス設備】 (実績) ・運転 (予定) ・運転	運転																									(継続運転)	
	陸側排水	【セシウム吸着装置】 【第二セシウム吸着装置】 【第三セシウム吸着装置】 (実績) ・処理運転 (予定) ・処理運転	処理運転																								(継続運転)	2021年1月29日 吸着塔の第二セシウム吸着装置及び第三セシウム吸着装置での再利用の実施計画変更認可 (原規規第2101291号) 使用前検査 : 2022年7月21日 (第二セシウム吸着装置1号) 2022年7月28日 (第二セシウム吸着装置2号) 2022年8月25日 (第二セシウム吸着装置3号) 使用前検査予定 : 調整中 (第三セシウム吸着装置1号、2号、3号) 第三セシウム吸着装置の運転計画見直しにより実施時期再調整中	
		(実績・予定) ・末凍結箇所補助工事は2018年9月に完了 ・維持管理運転2019年2月21日全域展開完了	維持管理運転 (北側、南側の一部 2017/5/22~、海側の一部 2017/11/13~、海側全域・山側の一部 2018/3/14~、山側全域2019/2/21完了)																									(継続運転)	6BL+11戻り配管 (昨年度漏えい箇所の近傍) カップリングジョイント部からブライン飛離落下 (11月28日) 今後、当該区間のブラインを抜き取り、カップリングジョイントを交換予定 (1月~2月予定、交換時2系統 (南回り) のブライン供給停止 (1週間程度))
		【凍土壁内フェーシング (全6万㎡)】 ・4号機建屋西側 ・3号機建屋西側	4号機建屋西側 3号機建屋西側																									(2023年3月 工事完了予定)	4号機建屋西側: 2023年1月完了予定 3号機建屋西側: 2024年2月完了予定
		1-2号Rw/B屋上雨水排水対策工事	(実績・予定) ・1号Rw/B屋上雨水の浄化材への排水ルート構築																									(2023年12月調査完了予定)	2023年1月10日 着手
1-4号機建屋周辺トレンチ調査	(実績・予定) ・7箇所の実地調査 (2022) ・12箇所の調査実施 (2023)																									(2023年7月 工事完了予定)	2022年12月21日 調査完了		
サブドレンNo40周辺PCB含有絶縁油採取抑制対策	(実績・予定) ・絶縁板設置 ・薬液注入																									(2023年7月 工事完了予定)			

汚染水対策スケジュール (2/2)

分野名	活り	計画/中長期実行プラン2022目標工程	対象設備・作業内容	これまで1ヶ月の動きと今後6ヶ月の予定	12月							1月							2月			3月			4月			5月			6月			7月以降	備考
					11	18	25	1	8	15	22	29	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下								
汚染水対策分野	●タンク関連	H4エリアNo. 5タンクからの漏えい対策	(実績・予定) ・汚染の拡散状況把握	現場作業	モニタリング																												(継続実施)	2018年9月10日 Eエリアにおける中低濃度タンクの撤去等について(実施計画変更後) D2タンク内の残水回収: 2022年6月完了	
					タンク解体	(予定) ・Eエリアフランジタンク解体工事: 49基解体予定(2023年度中) ・Eエリアフランジタンク(D1)内の残水回収(スラッジ含む) (実績) 解体基数 46基/49基	現場作業	Eエリアフランジタンク解体工事																											
		Eエリアフランジタンク(D1・D2)内の残水回収																												(継続実施)					
		●自然災害対策	津波対策	○日本海溝津波対策 ・日本海溝津波対策防制施設設置(実績・予定) 斜堰補強構築工事 本体構築工事	現場作業	斜堰補強・本体構築工事																													(2024年3月工事完了予定)
	ろ過水タンク西側整備(ろ過水配管リルート工事) 地盤改良工事(地盤改良) 実施中																												(2024年度初旬工事完了予定)						
	豪雨対策		○豪雨対策 ・D排水経路新設(9月30日完成) ・モニタリング関連設備構築中	現場作業	モニタリング関連設備現場工事																												(2023年3月モニタリング設備2系続化完了予定)	2022年11月にモニタリング設備(連続監視)運用開始 2022年12月にゲート連続操作開始予定	

水処理設備の運転状況, 運転計画

(2023年2月3日～2023年3月2日)

2023年2月17日

東京電力ホールディングス株式会社

既設多核種除去設備

	3(金)	4(土)	5(日)	6(月)	7(火)	8(水)	9(木)	10(金)	11(土)	12(日)	13(月)	14(火)	15(水)	16(木)	17(金)	18(土)	19(日)	20(月)	21(火)	22(水)	23(木)	24(金)	25(土)	26(日)	27(月)	28(火)	1(水)	2(木)
A	点検停止	↔	計画停止	↔												計画停止	↔										点検停止	
B	点検停止												計画停止						点検停止									
C	点検停止																											

増設多核種除去設備

	3(金)	4(土)	5(日)	6(月)	7(火)	8(水)	9(木)	10(金)	11(土)	12(日)	13(月)	14(火)	15(水)	16(木)	17(金)	18(土)	19(日)	20(月)	21(火)	22(水)	23(木)	24(金)	25(土)	26(日)	27(月)	28(火)	1(水)	2(木)		
A	点検停止																		↔										点検停止	↔
B	計画停止	↔				点検停止	↔				点検停止	↔						計画停止	↔				点検停止	計画停止						
C	計画停止																										点検停止	計画停止		

高性能多核種除去設備

	3(金)	4(土)	5(日)	6(月)	7(火)	8(水)	9(木)	10(金)	11(土)	12(日)	13(月)	14(火)	15(水)	16(木)	17(金)	18(土)	19(日)	20(月)	21(火)	22(水)	23(木)	24(金)	25(土)	26(日)	27(月)	28(火)	1(水)	2(木)
A	計画停止																											

セシウム吸着装置(KURION), 第二セシウム吸着装置(SARRY), 第三セシウム吸着装置(SARRY2)

	3(金)	4(土)	5(日)	6(月)	7(火)	8(水)	9(木)	10(金)	11(土)	12(日)	13(月)	14(火)	15(水)	16(木)	17(金)	18(土)	19(日)	20(月)	21(火)	22(水)	23(木)	24(金)	25(土)	26(日)	27(月)	28(火)	1(水)	2(木)			
SARRY	点検停止							計画停止						点検停止	↔										点検停止						
SARRY2	↔												計画停止	点検停止	↔						計画停止	↔									
KURION	計画停止																														

※ 現場状況を踏まえて運転するため、計画を変更する場合があります。

福島第一原子力発電所の滞留水の水位について

2023年2月17日

(2023年2月3日～2023年2月16日)

東京電力ホールディングス株式会社

	原子炉建屋水位					タービン建屋水位				廃棄物処理建屋水位				集中廃棄物処理施設水位		
	1号機	2号機	3号機		4号機	1号機	2号機	3号機	4号機	1号機	2号機	3号機	4号機	プロセス 主建屋	高温焼却炉 建屋	サイトバンカ 建屋
			HPCI室	トーラス室												
2月3日	-2043	-2910	-2722	-2747	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-343	-134	1345
2月4日	-2036	-2879	-2726	-2747	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-341	-167	1344
2月5日	-2056	-2901	-2728	-2705	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-340	-230	1343
2月6日	-2045	-2879	-2728	-2705	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-338	-316	1342
2月7日	-2031	-2898	-2729	-2748	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-336	-344	1342
2月8日	-2039	-2882	-2729	-2747	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-331	-372	1342
2月9日	-2036	-2894	-2729	-2747	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-329	-329	1341
2月10日	-2024	-2889	-2729	-2747	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-327	-313	1341
2月11日	-2016	-2894	-2728	-2747	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-326	-256	1340
2月12日	-2034	-2898	-2728	-2747	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-325	-232	1340
2月13日	-2051	-2893	-2726	-2745	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-323	-243	1339
2月14日	-2051	-2912	-2726	-2705	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-318	-243	1339
2月15日	-2056	-2889	-2743	-2743	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-316	-19	1339
2月16日	-2034	-2894	-2752	-2689	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-315	176	1338
最下階床面高さ	-2666	-4796	-4796	-4796	443	-1752	-1737	-1739	-36	-1736	-1736	-1736	-2736	-2236	2358	

備考欄

- ※ T.P.表記 (単位:mm)
- ※ 5時時点の水位
- ※ 1号機タービン建屋の滞留水処理完了(2017年3月)
- ※ 1号機廃棄物処理建屋の滞留水処理完了(2019年3月)
- ※ 3号機原子炉建屋水位は、南東三角コーナー水位が停滞している事から水位変動を監視するため一時的に記載(2019年7月5日～)
- ※ 4号機原子炉建屋の滞留水処理完了(2020年12月)
- ※ 2～4号機タービン建屋の滞留水処理完了(2020年12月)
- ※ 2～4号機廃棄物処理建屋の滞留水処理完了(2020年12月)
- ※ サイトバンカ建屋は過去に滞留水を誤って移送した経緯があり、排水したものの現状も低レベルの汚染が残っていることから、水位を監視している。
《当該建屋内の水は1～4号機建屋及び集中廃棄物処理施設(プロセス主建屋、高温焼却炉建屋)内の建屋滞留水と切り離されており、放射能濃度も低いことから、建屋滞留水ではない。》
なお、これまでは水位計の測定下限値(約T.P.2700mm)以下まで水位低下処置し監視を行ってきたが、さらに建屋サンプの水位変動を確認するため、
2022年4月19日より水位計を移設し連続監視を行う事とした。

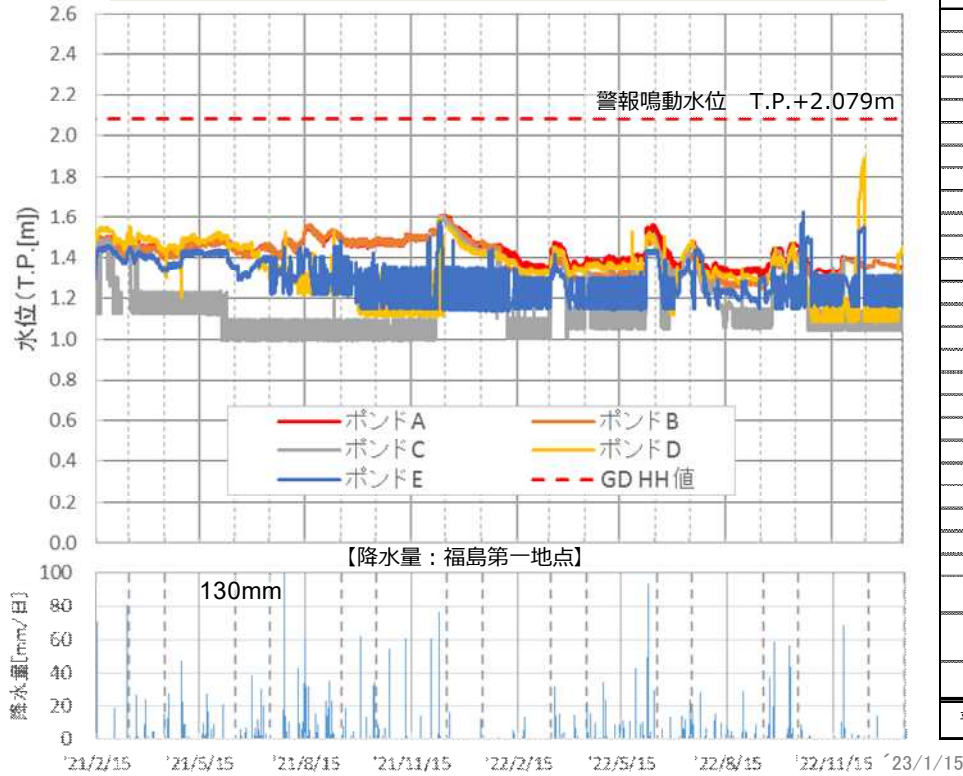
地下水ドレンの稼働状況について

2023/2/17



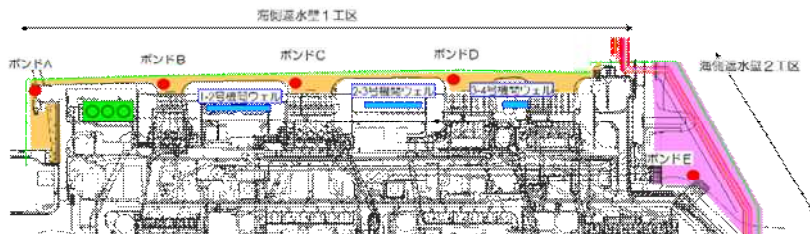
【地下水ドレンpond水位】

pondDの改良工事に伴う停止 '21.12/13~12/17,'22.7/4~7/8
 pondCの改良工事に伴う停止 '21.12/6~12/10,'22.6/27~7/1,'22.9/26~22.9/30
 pondEの改良工事に伴う停止 '22.2/7~2/11,'22.8/1~8/5



※水位計点検時の水位データは除く。

【配置図】



【無断複製・転載禁止 東京電力ホールディングス株式会社】

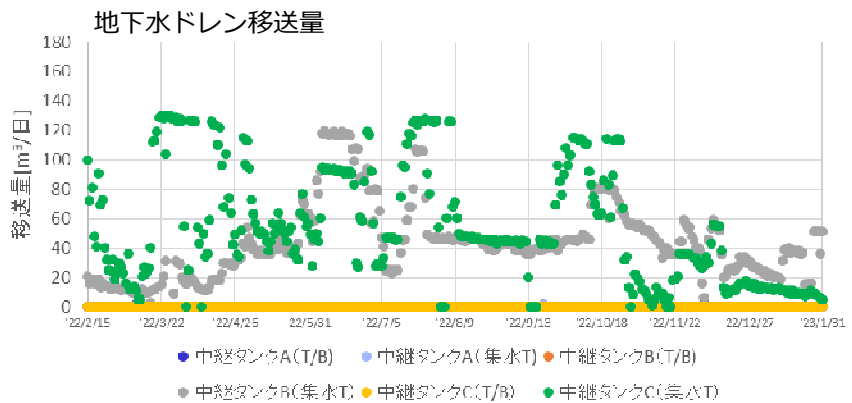
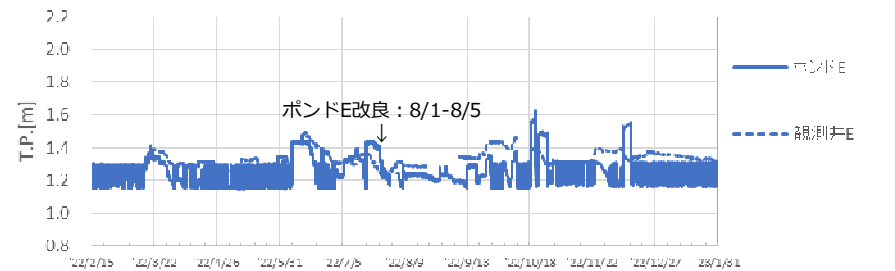
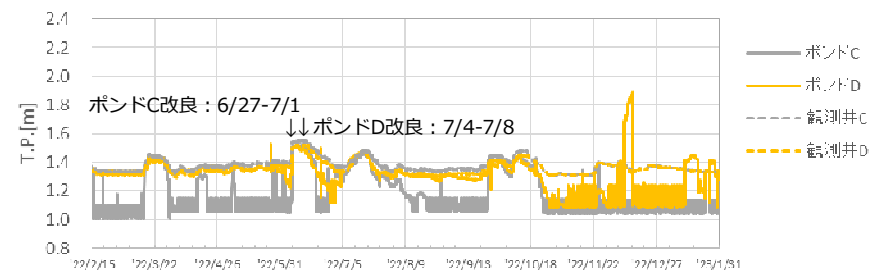
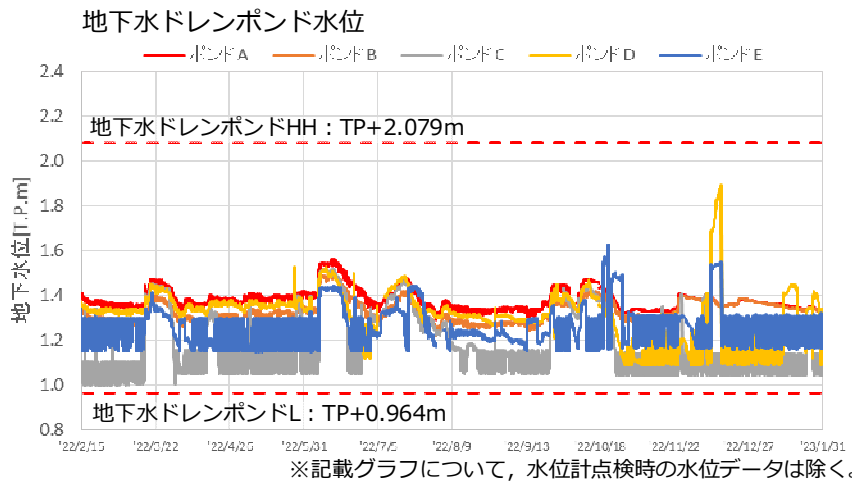
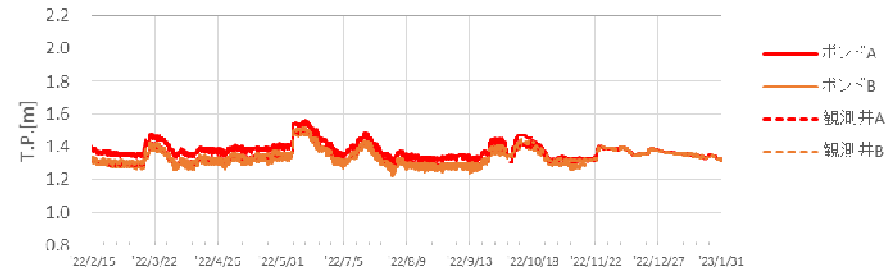
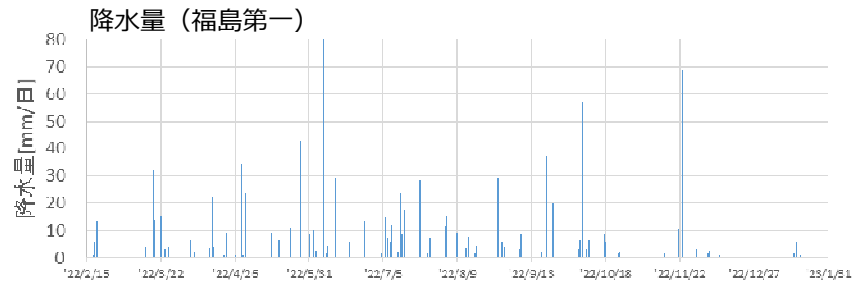
■ 地下水ドレン集水タンク及びT/B移送量（左表）、
 ウェルポイントT/B移送量（右表） [m³/日]

前日0:00より24時間

地下水ドレン	中継タンクA		中継タンクB		中継タンクC		集水タンク移送量合計	T/B移送量合計	移送量合計*	ウェルポイント			
	移送先	集水タンク	T/B	集水タンク	T/B	集水タンク				T/B	#1-2間	#2-3間	#3-4間
1/10	0	0	20	0	13	0	33	0	33	7	0	0	7
1/11	0	0	19	0	11	0	30	0	30	7	0	0	7
1/12	0	0	31	0	11	0	42	0	42	7	0	0	7
1/13	0	0	39	0	11	0	50	0	50	13	0	0	13
1/14	0	0	37	0	10	0	47	0	47	7	0	0	7
1/15	0	0	40	0	11	0	51	0	51	7	0	0	7
1/16	0	0	37	0	9	0	46	0	46	6	0	0	6
1/17	0	0	38	0	11	0	49	0	49	0	0	0	0
1/18	0	0	38	0	9	0	47	0	47	7	0	0	7
1/19	0	0	37	0	9	0	46	0	46	7	0	0	7
1/20	0	0	38	0	10	0	48	0	48	6	0	0	6
1/21	0	0	36	0	8	0	44	0	44	7	0	0	7
1/22	0	0	37	0	8	0	45	0	45	0	0	0	0
1/23	0	0	15	0	7	0	22	0	22	7	0	0	7
1/24	0	0	0	0	9	0	9	0	9	0	0	0	0
1/25	0	0	0	0	9	0	9	0	9	7	0	0	7
1/26	0	0	16	0	11	0	27	0	27	7	0	0	7
1/27	0	0	51	0	9	0	60	0	60	7	0	0	7
1/28	0	0	51	0	8	0	59	0	59	7	0	0	7
1/29	0	0	51	0	7	0	58	0	58	0	0	0	0
1/30	0	0	36	0	6	0	42	0	42	9	0	0	9
1/31	0	0	51	0	5	0	56	0	56	7	0	0	7
2/1	0	0	49	0	3	0	52	0	52	7	0	0	7
2/2	0	0	45	0	9	0	54	0	54	7	0	0	7
2/3	0	0	45	0	6	0	51	0	51	0	0	0	0
2/4	0	0	45	0	8	0	53	0	53	9	0	0	9
2/5	0	0	45	0	6	0	51	0	51	9	0	0	9
2/6	0	0	13	0	2	0	15	0	15	11	0	0	11
平均	0	0	34	0	8	0	43	0	43	6	0	0	6

※合計値は小数点第一位のデータを合計しているため、個々のデータを合計した数値と合計値に差異がある場合がある。

地下水ドレン稼働状況および水位変化状況



- 通常時は Pond C～D を稼働し、Pond C の設定水位を一番低くして、H3 の拡散抑制を継続。
- 集水タンクの H-3, Sr 濃度上昇抑制のため、サブドレンの稼働状況を踏まえて、各 Pond の設定水位の変更及び流量調整等を都度、実施。
- また、観測井水位と降雨予報も踏まえ、適宜、Pond の稼働や観測井からの揚水を実施
- '22/2/14 に Pond D、E の H 値を変更 (-50mm)
- '22/3/31 に Pond C の H・L 値を変更 (+50mm)
- 現時点における設定水位及び稼働状況

	H値	L値
Pond A	T.P.1200mm	～ 1000mm
Pond B	T.P.1200mm	～ 1000mm
Pond C	T.P.1150mm	～ 1050mm
Pond D	T.P.1250mm	～ 1100mm
Pond E	T.P.1300mm	～ 1150mm

[稼働状況]
 観測井の水位変動状況等に応じて稼働
 観測井の水位変動状況等に応じて稼働
 稼働中 (流量調整を適宜実施)
 稼働中 (流量調整を適宜実施)
 稼働中 (流量調整を適宜実施)

地下水ドレン中継タンクの水質

◆ 中継タンク

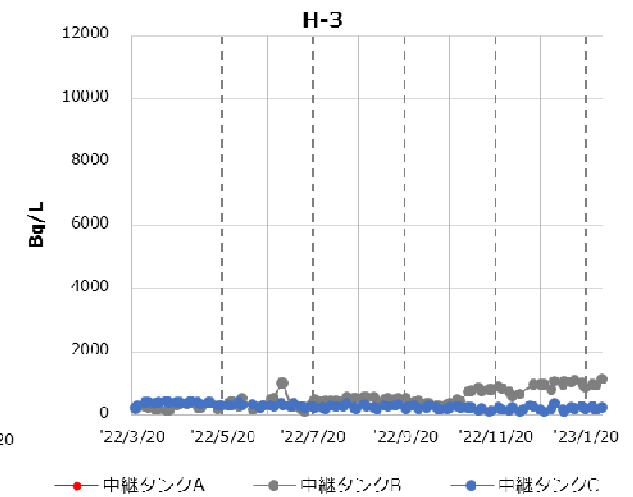
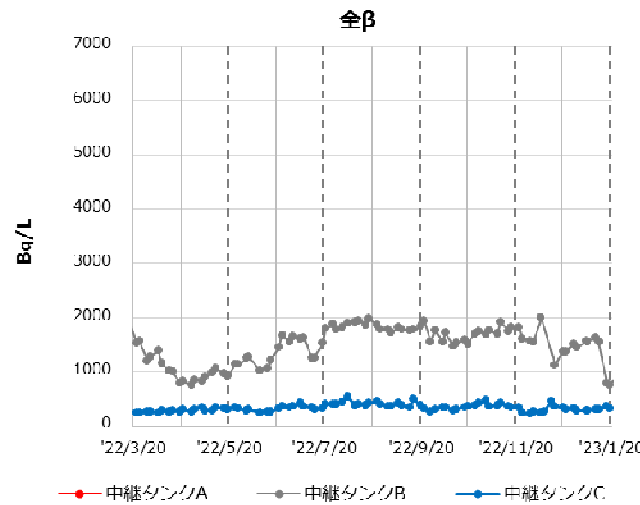
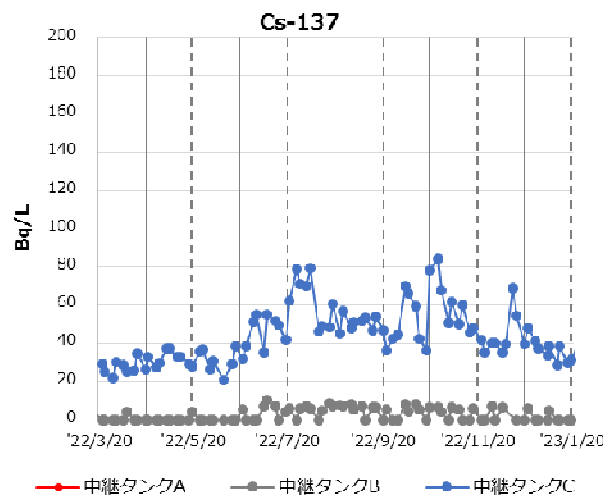
- セシウム137 ; 中継タンクBは、5~10Bq/L程度、あるいは検出限界値 (ND) で推移している。
中継タンクCは、30~80Bq/L程度で推移。
- 全β ; 中継タンクBは、1,000~2,000Bq/L程度で推移。
中継タンクCは、500Bq/L程度で推移。
- トリチウム ; 中継タンクBは、500~1,000Bq/L程度で推移。
中継タンクCは、300Bq/L以下で推移。

(記載データ採取日)
 中継タンクA ; 2017/12/8※
 中継タンクB, C ; 2023/2/2

(単位) Bq/L

中継タンク	セシウム137	全β	トリチウム
A	<4.4	3,600	1,800
B	<4.5	870	1,100
C	41	370	370

※ ポンドA非稼働のため
 2017/12/8以降サンプリング休止



<参考> 地下水ドレン汲み上げ水の水質 (ポンド別)

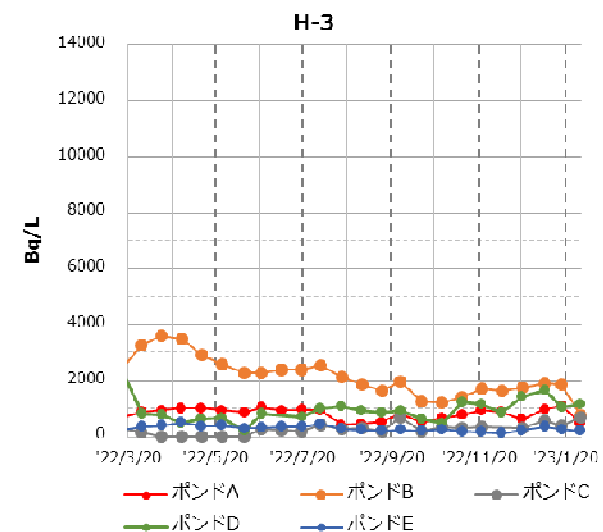
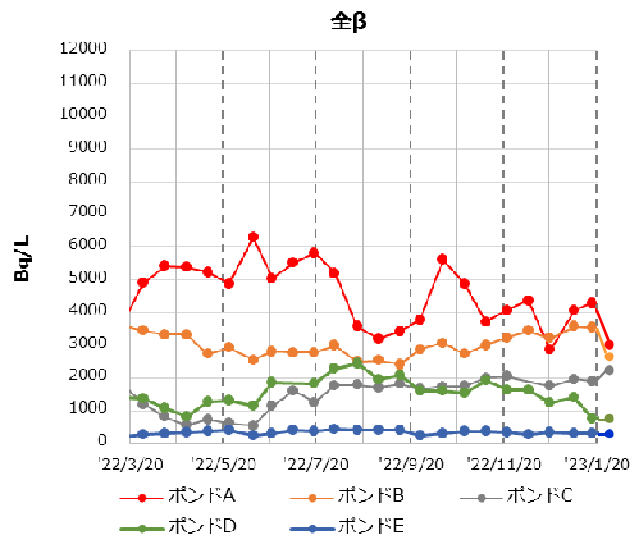
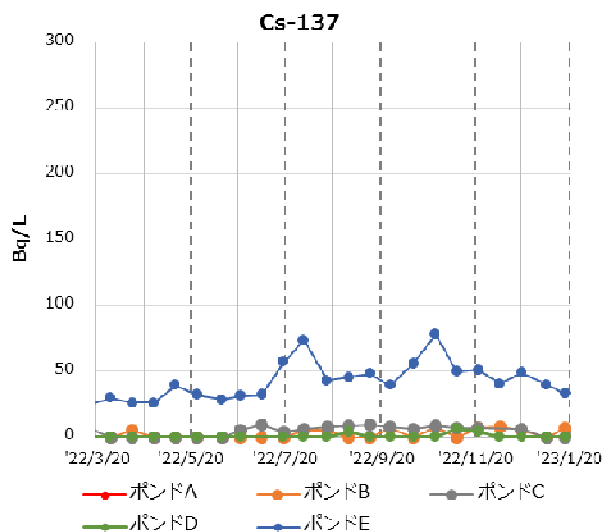
◆ ポンド

- セシウム137 ; ポンドEは、40~80Bq/L程度で推移。
- 全β ; ポンドAは、3,000~5,000Bq/L程度で推移。
ポンドBは、2,000~4,000Bq/L程度で推移。
ポンドC,Dは、1,000~2,000Bq/L程度で推移。
- H-3 ; ポンドAは、500~1,000Bq/L程度で推移。
ポンドBは、1,000~2,000Bq/L程度で推移。
ポンドC、Eは、500Bq/L程度以下で推移。
ポンドDは、1,000Bq/L程度以下で推移。

採取日 2023/1/30

(単位) Bq/L

ポンド	セシウム137	全β	トリチウム
A	<4.6	3,000	490
B	<4.3	2,800	750
C	10	2,300	670
D	<4.0	840	1,200
E	40	310	210



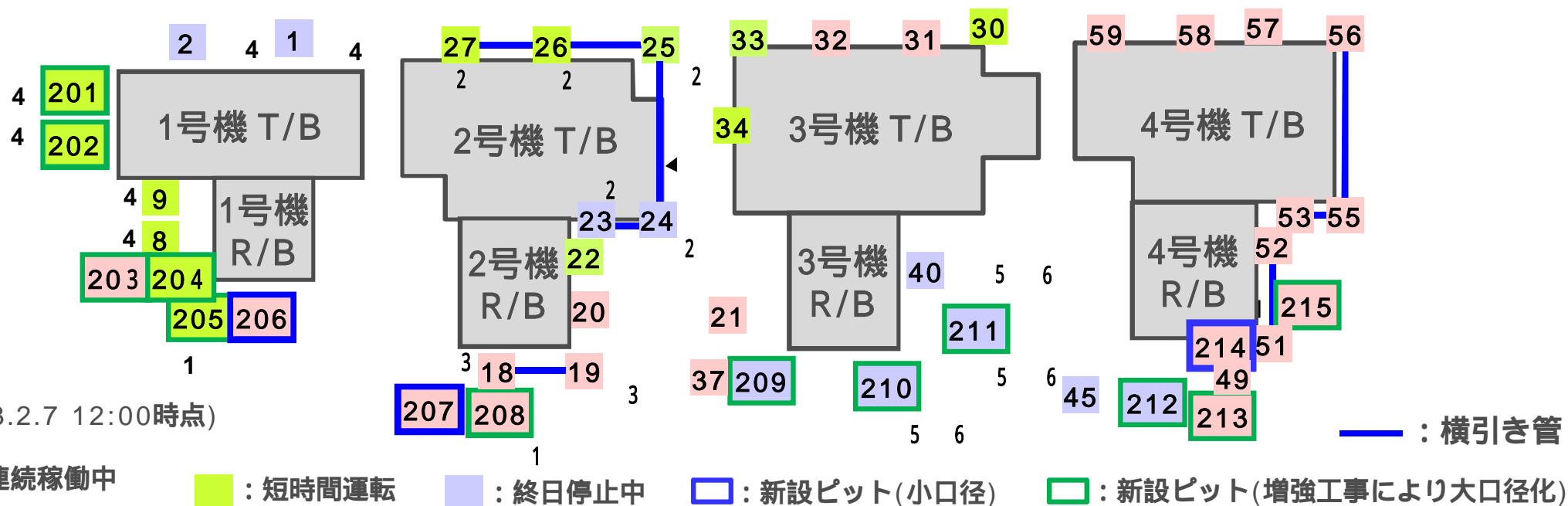
サブドレン稼働状況について

2023年2月17日
東京電力ホールディングス株式会社

サブドレン稼働概要

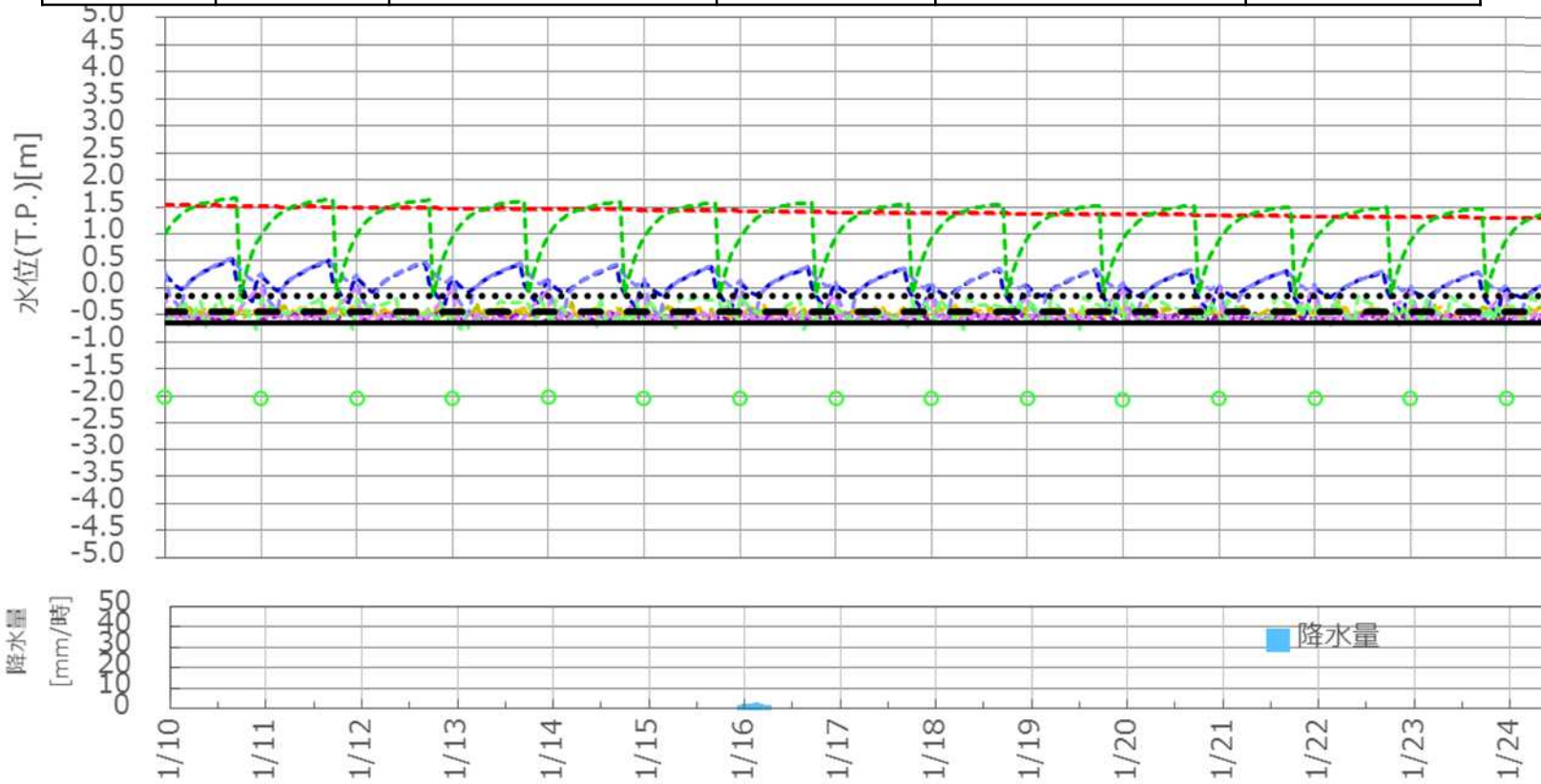
対象ピット	期間	設定値(m)		
		L値	H値(大口徑)	H値(小口径)
周辺ピット	2020/2/7 ~	T.P.-0.15	T.P.0.05	T.P.0.350
	2020/2/18 ~	T.P.-0.35	T.P.-0.15	T.P.0.150
	2020/11/12 ~	T.P.-0.45	T.P.-0.25	T.P.0.050
	2020/11/24 ~	T.P.-0.55	T.P.-0.35	T.P.-0.050
	2021/5/13 ~	T.P.-0.65	T.P.-0.45	T.P.-0.150
No.205,No.208 1	2021/5/13 ~	T.P.-0.20	T.P.0.00	-
No.23 ~ No.27 2	2020/2/18 ~	T.P.-0.35	T.P.-0.15	-
No.18 ~ No.19 3	2020/8/7 ~	No.18	T.P.0.50	T.P.0.70
		No.19	T.P.0.70	T.P.0.90
No.1,2,8,9,201,202 4	2020/11/24 ~	T.P.-0.55	T.P.-0.35	-
No.40,210,211 5, 6	2021/9/13 ~	No.40	T.P.1.50	T.P.1.70
		No.210,211	T.P.2.00	T.P.2.20
	2021/9/21 ~	No.40	T.P.1.00	T.P.1.20
		No.210,211	T.P.1.50	T.P.1.70
	2022/3/10 ~	No.210,211	T.P.1.40	T.P.1.60

- トリチウム濃度の高い地下水の汲上を抑制するために、No.206,207ピットより水位設定値を高く設定している。
- No.23 ~ 27については、2020/2/18 ~ の設定値に据え置き。理由は、ポンプ停止時の水位上昇が遅いため、大雨の際の建屋水位上昇に備えて設定値を下げないこととした。
- No.18, 19については、溢水防止を目的とした連続運転を続けられるようにするため、水位設定値を高くしてトリチウム濃度を抑制している。
- No.1,2,8,9,201,202については、2020/11/24 ~ の設定値に据え置き。理由は、2と同様。
- No.40はピット内への油の引込みを防止するため水位を高くし、No.210, 211は古い連結管を通してNo.40からの油の引込みを防ぐため、より高く設定している。
- 4/21に確認された3号機起動変圧器からの油漏れ事象により、No.40,210,211ピットを停止中。



至近の水位変動（1号機）

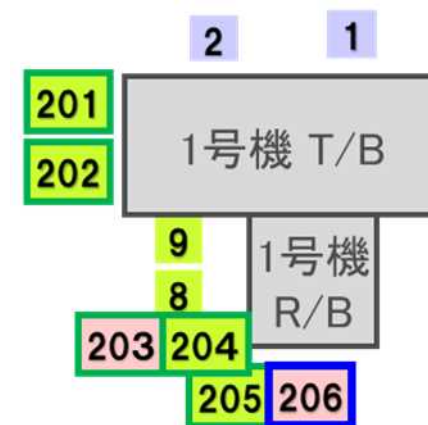
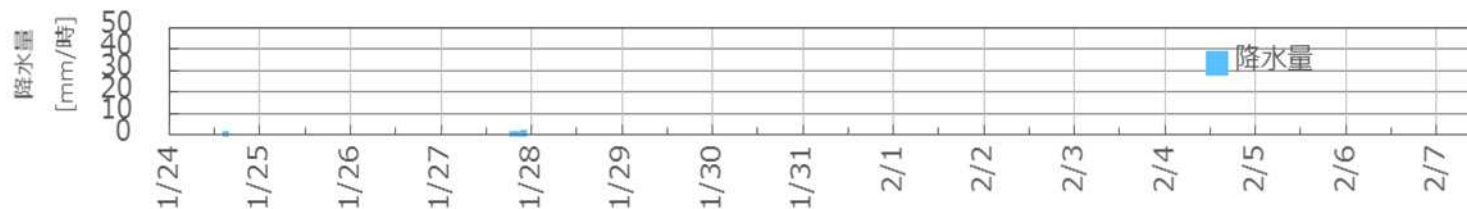
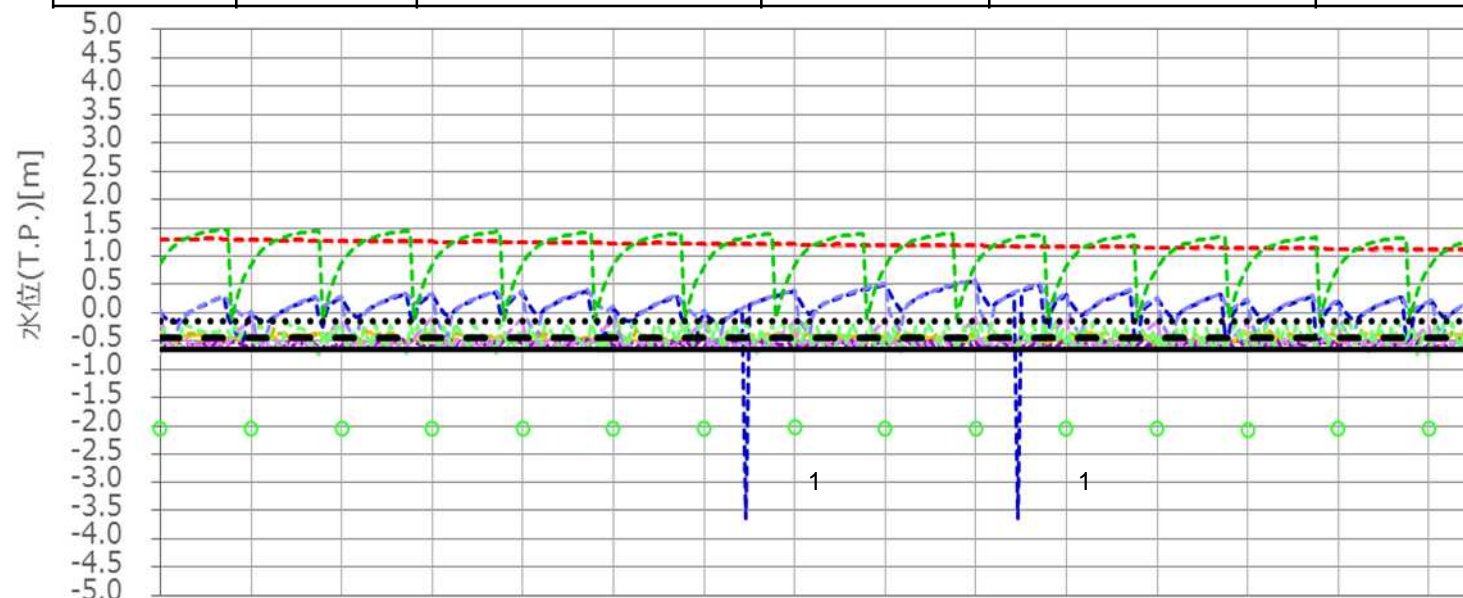
	運転状況	備考		運転状況	
----- 1	停止		----- 203(N3)	連続運転	
----- 2	停止		----- 204(N4)	短時間運転	
----- 8	短時間運転		----- 205(N5)	短時間運転	
----- 9	短時間運転		----- 206(N6)	連続運転	
----- 201(N1)	短時間運転		○ #1 R/B		
----- 202(N2)	短時間運転				



①周辺ピットL値
 ②周辺ピットH値
 ③新設ピットH値

至近の水位変動（1号機）

	運転状況	備考		運転状況	
----- 1	停止		----- 203(N3)	連続運転	
----- 2	停止		----- 204(N4)	短時間運転	
----- 8	短時間運転	1	----- 205(N5)	短時間運転	
----- 9	短時間運転		----- 206(N6)	連続運転	
----- 201(N1)	短時間運転		○ #1 R/B		
----- 202(N2)	短時間運転				

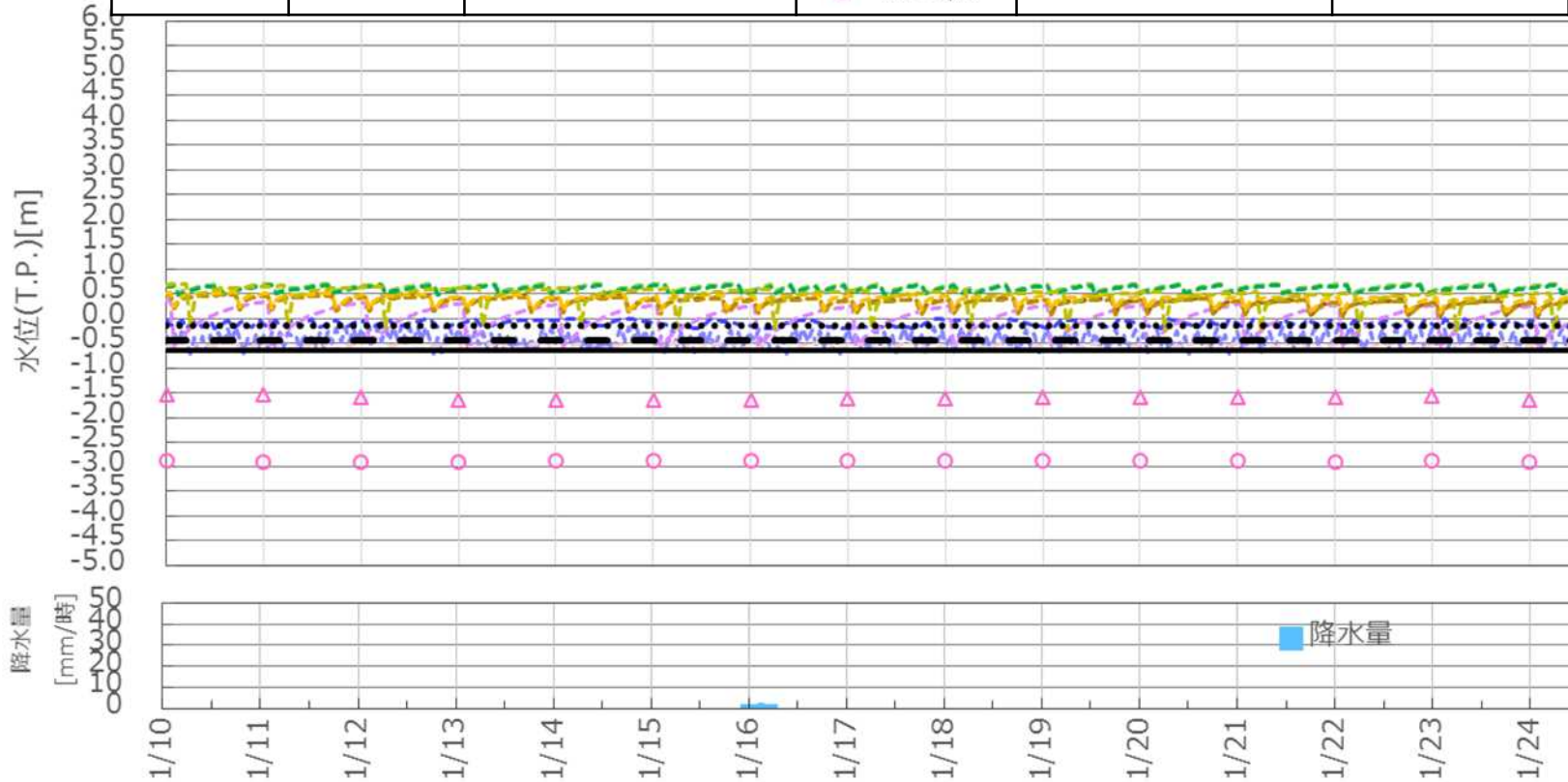


1
No.8ピットについて、ポンプ交換に伴い、運転停止、水位計一時引き上げを実施(1/30~2/2)

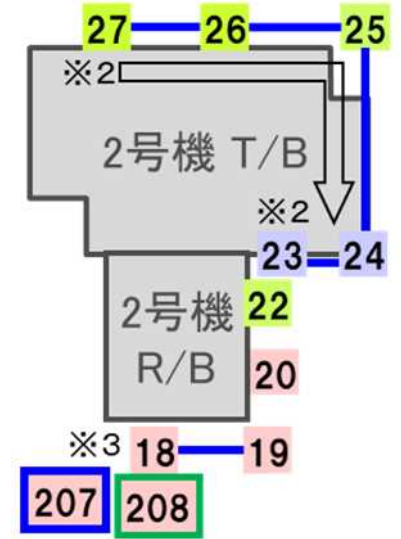
—— ①周辺ピットL値 - - - ②周辺ピットH値 ③新設ピットH値

至近の水位変動（2号機）

	運転状況	備考		運転状況	
--- 207(N7)	連続運転		--- 22	短時間運転	
--- 208(N8)	連続運転		--- 23	停止	
--- 18	連続運転		--- 24	停止	
--- 19	連続運転		--- 25	短時間運転	
--- 20	連続運転		--- 26	短時間運転	
			--- 27	短時間運転	
△ #2 T/B			○ #2 R/B		

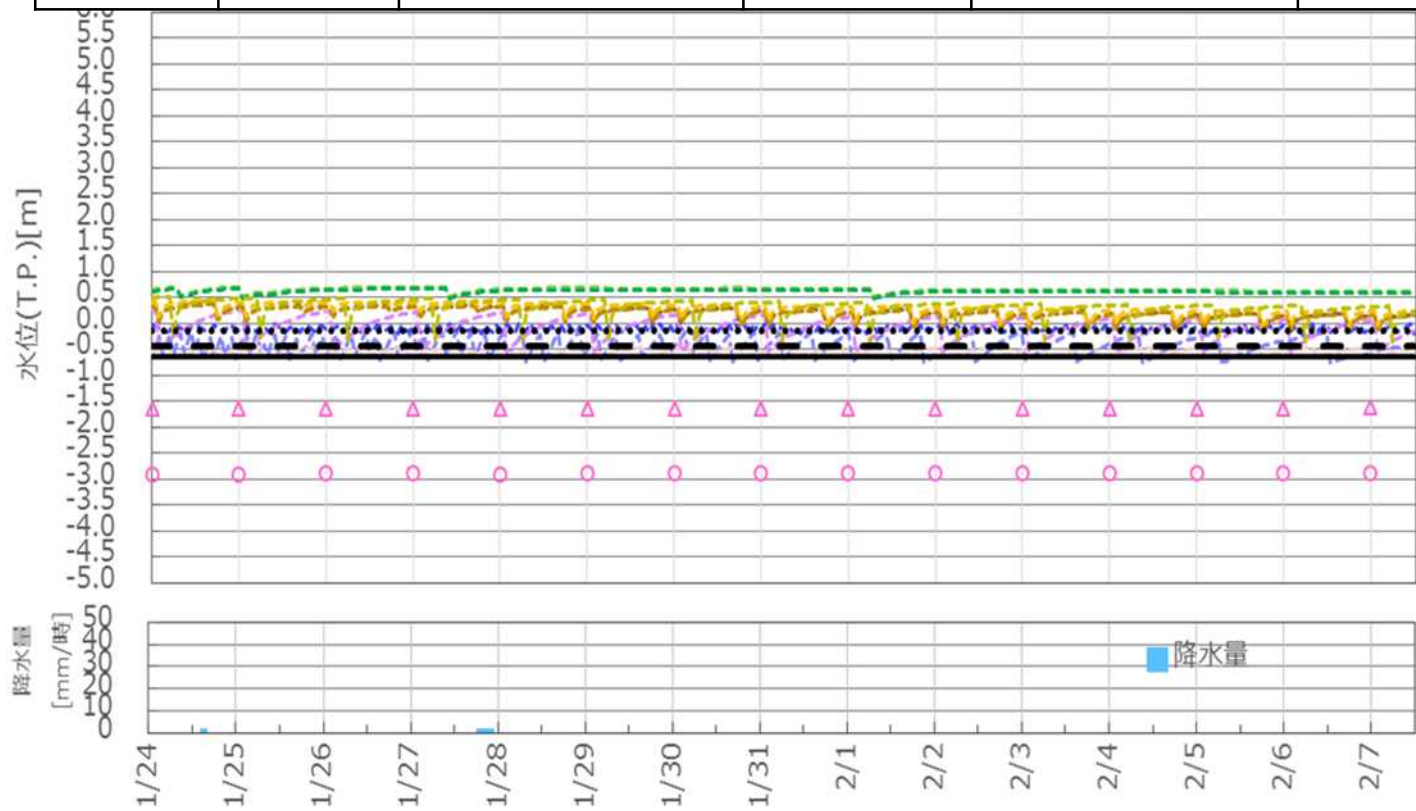


—— ①周辺ピットL値 - - ②周辺ピットH値 ③新設ピットH値

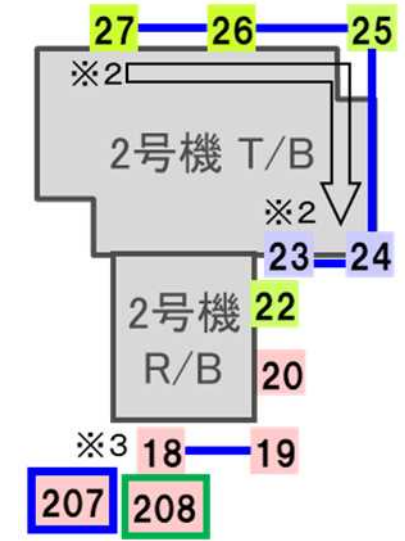


至近の水位変動（2号機）

	運転状況	備考		運転状況	
----- 207(N7)	連続運転		----- 22	短時間運転	
----- 208(N8)	連続運転		----- 23	停止	
----- 18	連続運転		----- 24	停止	
----- 19	連続運転		----- 25	短時間運転	
----- 20	連続運転		----- 26	短時間運転	
			----- 27	短時間運転	
△ #2 T/B			○ #2 R/B		

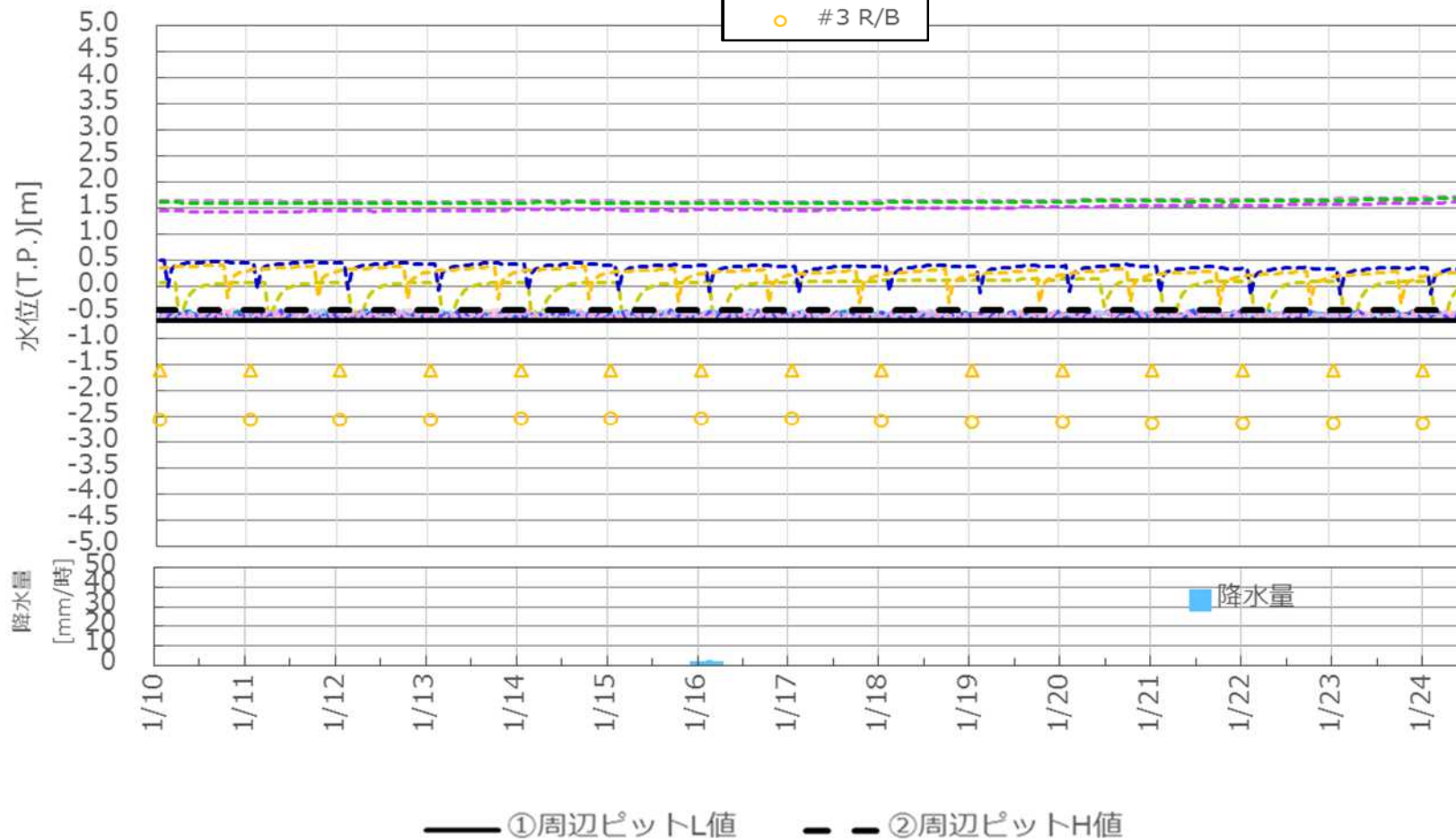


①周辺ピットL値
 ②周辺ピットH値
 ③新設ピットH値



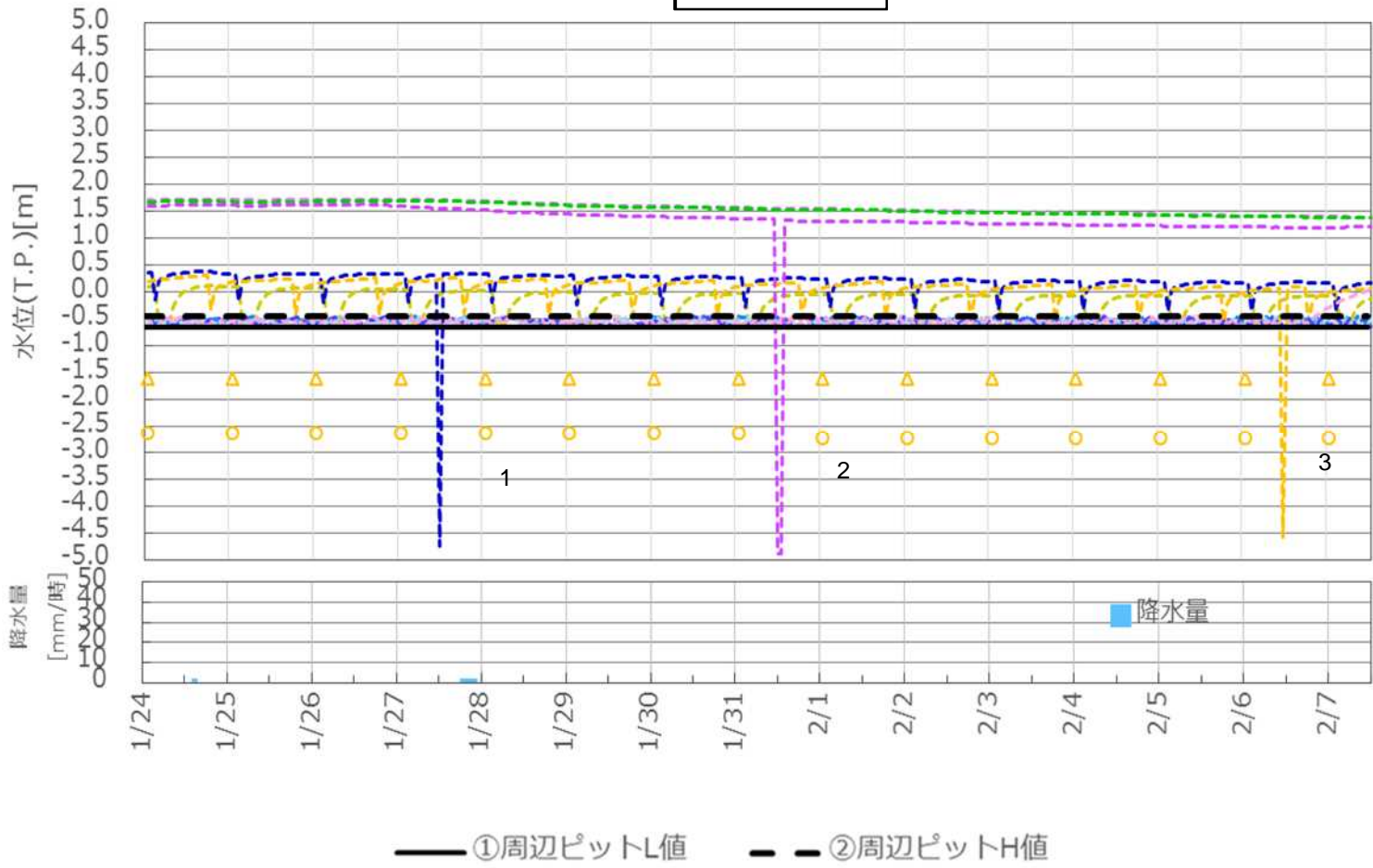
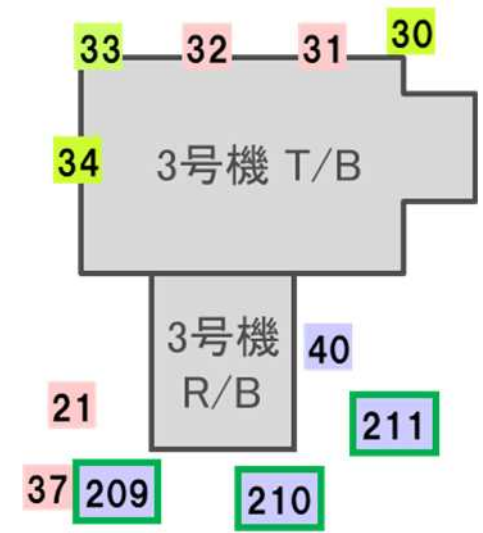
至近の水位変動（3号機）

	運転状況	備考		運転状況	備考
--- 30	短時間運転		--- 40	停止	
--- 31	連続運転		--- 209(N9)	連続運転	
--- 32	連続運転		--- 210(N10)	停止	
--- 33	短時間運転		--- 211(N11)	停止	
--- 34	短時間運転		--- 21	連続運転	
--- 37	連続運転		△ #3 T/B		
			○ #3 R/B		



至近の水位変動（3号機）

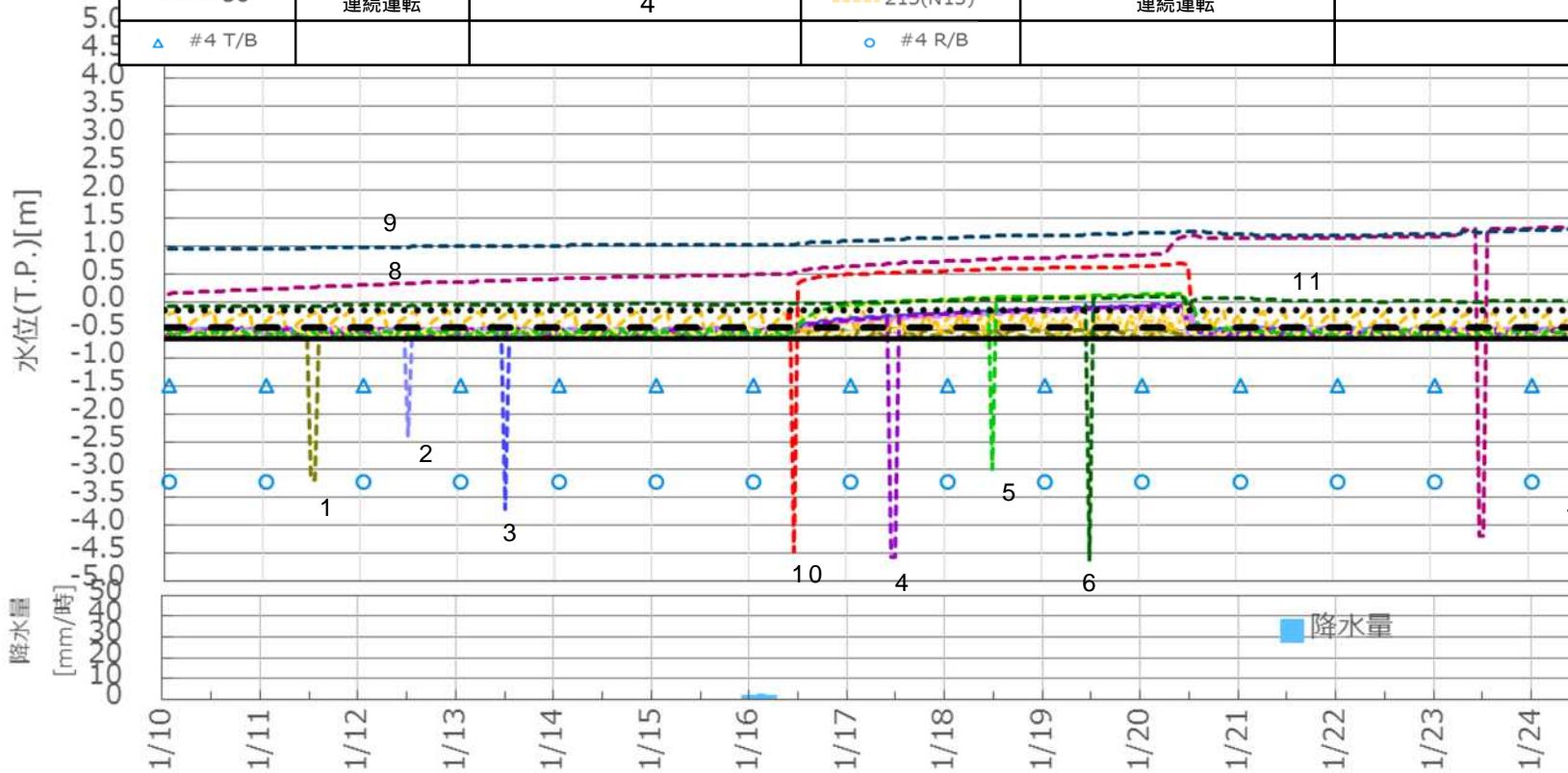
	運転状況	備考		運転状況	備考		
---	30	短時間運転	---	40	停止		
---	31	連続運転	---	209(N9)	停止		
---	32	連続運転	---	210(N10)	停止		
---	33	短時間運転	1	---	211(N11)	停止	2
---	34	短時間運転	3	---	21	連続運転	
---	37	連続運転		△	#3 T/B		
				○	#3 R/B		



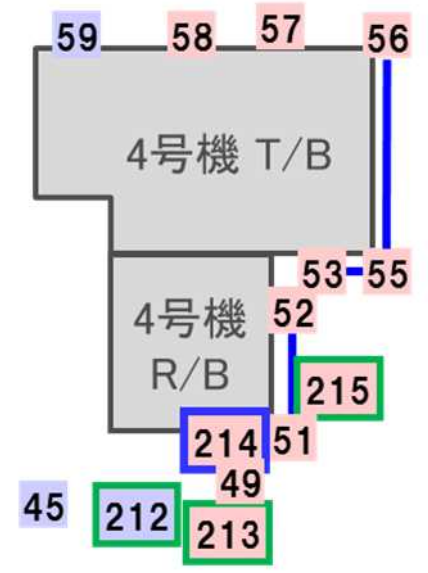
1~3
計装品点検に伴い、水位計停止
・一時引き上げ

至近の水位変動（4号機）

	運転状況	備考		運転状況	
--- 45	連続運転	8	--- 57	連続運転	
--- 49	連続運転	10	--- 58	連続運転	5
--- 51	連続運転	1	--- 59	停止	6,11
--- 52	連続運転	2	--- 212(N12)	連続運転	9
--- 53	連続運転	3	--- 213(N13)	連続運転	
--- 55	連続運転		--- 214(N14)	連続運転	7
--- 56	連続運転	4	--- 215(N15)	連続運転	
▲ #4 T/B			○ #4 R/B		



—— ①周辺ピットL値 - - ②周辺ピットH値 ③新設ピットH値

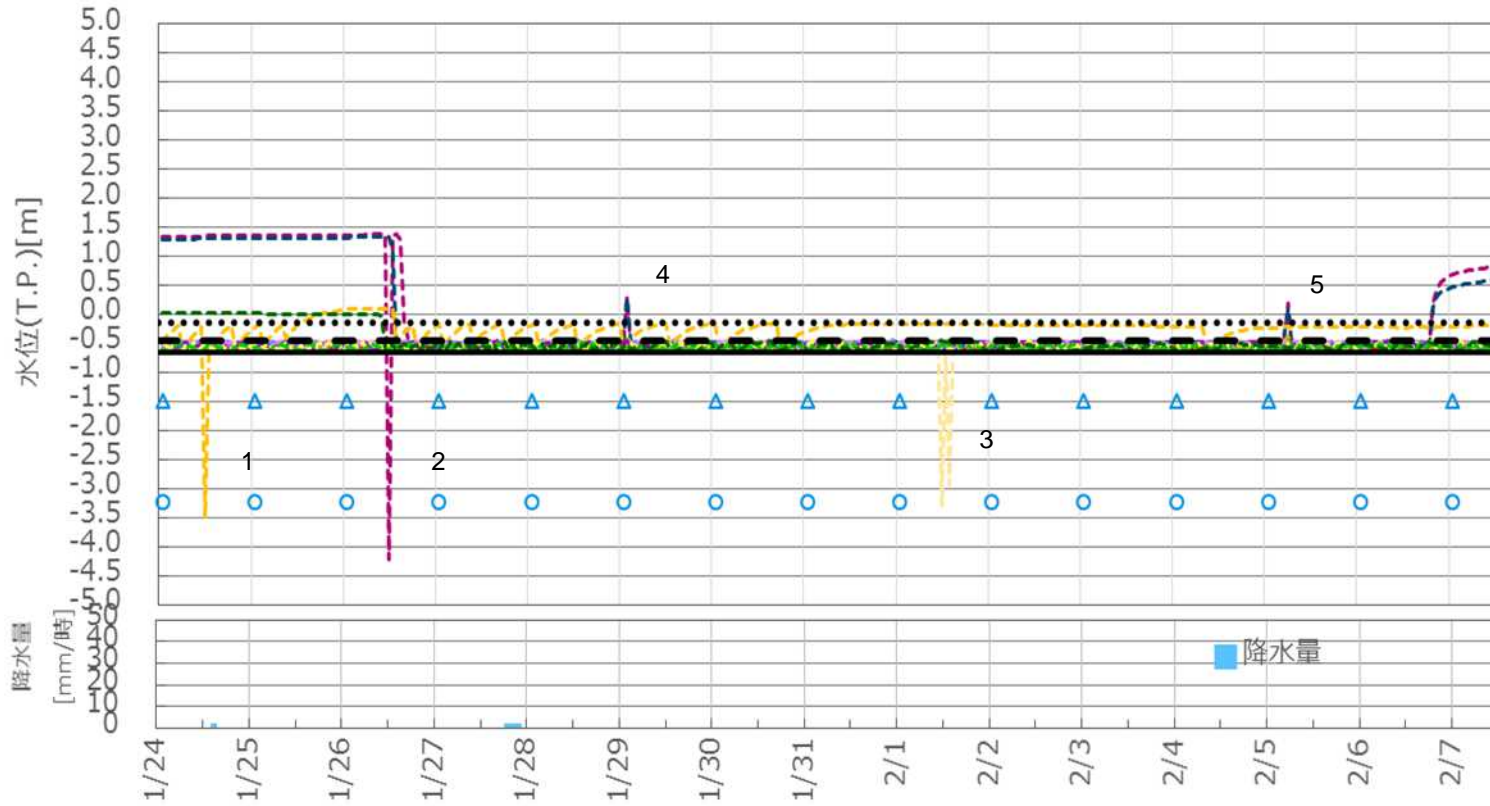
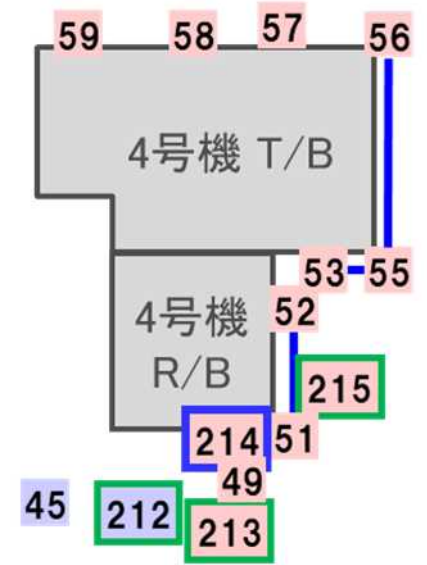


- 1~7
計装品点検に伴い、水位計停止
・一時引き上げ
- 8、9
No.45・212ピットは、ポンプの詰まりにより水位が上昇した。このため、それぞれのピットについて、揚水ポンプ点検清掃（1/23~26）と、これに伴う運転停止、水位計停止・一時引き上げを実施。
- 10
No.49ピットについて、揚水ポンプ点検清掃（1/16~20）に伴い、水位計停止・一時引き上げを実施
- 11
3~4号サービス建屋ポンベ室解体工事に伴う停止（1/6~）

至近の水位変動（4号機）

	運転状況	備考		運転状況	
--- 45	停止中	2,4,5	--- 57	連続運転	
--- 49	連続運転		--- 58	連続運転	
--- 51	連続運転		--- 59	連続運転	
--- 52	連続運転		--- 212(N12)	停止中	4,5
--- 53	連続運転		--- 213(N13)	連続運転	
--- 55	連続運転		--- 214(N14)	連続運転	1
--- 56	連続運転		--- 215(N15)	連続運転	3
▲ #4 T/B			○ #4 R/B		

4号機周り



— ①周辺ピットL値 - - ②周辺ピットH値 ③新設ピットH値

1~3
計装品点検に伴い、水位計停止
・一時引き上げ

4,5
No4中継タンク水位計欠測
に伴い一時停止

サブドレン水質一覧(2023.2.9現在)

単位：Bq/L

	建屋	ビット	セシウム 134	セシウム 137	全	トリチウム	採取日	
既設ビット	1号機	1	5.2	79	3,000	120	2023.1.13	
			5.6	66	3,600	110	2023.1.27	
		2	3.6	5.4	23,000	140	2023.1.13	
			6.7	5.9	20,000	110	2023.1.27	
		8	3.0	12	19	4,200	2023.1.28	
			3.5	25	38	5,700	2023.2.4	
		9	3.6	11	20	5,900	2023.1.28	
			4.5	8	18	10,000	2023.2.4	
		2号機	18	5.6	180	220	46	2023.2.1
				9.0	210	230	250	2023.2.8
	19		5.8	220	280	270	2023.2.1	
			6.3	260	340	250	2023.2.8	
	20		3.7	5	11	400	2023.1.25	
			5.1	5.0	12	480	2023.2.8	
	21		5.3	3.6	8	130	2023.1.25	
			3.6	4.8	12	130	2023.2.8	
	22		3.6	44	330	2,600	2023.1.31	
			4.4	90	290	2,000	2023.2.7	
	23	5.4	260	470	5,900	2023.1.31		
		6.3	390	610	7,600	2023.2.7		
	24	15	760	790	980	2023.1.31		
		5.1	130	190	1,300	2023.2.7		
	25	56	2,700	4,100	18,000	2023.1.31		
		62	2,600	3,700	18,000	2023.2.7		
	26	34	1,700	2,600	12,000	2023.1.31		
		41	1,700	2,700	14,000	2023.2.7		
	27	200	8,300	21,000	3,100	2023.1.31		
		180	8,400	21,000	3,100	2023.2.7		
	3号機	30	6	150	380	8,400	2023.1.13	
			5.7	190	410	7,200	2023.1.27	
		31	3.6	4	380	2,900	2023.1.13	
			4.0	4.8	490	2,200	2023.1.27	
		32	3.5	4.4	16	4,500	2023.1.13	
			4.1	4.8	11	4,700	2023.1.27	
		33	2.8	5.1	13	23,000	2023.1.13	
			5.8	5.6	11	22,000	2023.1.27	
		34	5.7	9	19	7,600	2023.1.13	
			4.5	8	17	8,300	2023.1.27	
	37	5.8	4.8	8	130	2023.1.25		
		4.0	5.2	12	130	2023.2.8		
40	5	140	190	240	2022.8.26			
	110	3,700	4,200	170	2022.9.2			

赤字は検出限界値未満を表す
ハッチングは最新値を示す。

	建屋	ビット	セシウム 134	セシウム 137	全	トリチウム	採取日
既設ビット	4号機	45	3.0	4.4	12	120	2022.9.2
			6.0	3.7	11	120	2022.10.21
		51	4.4	4.4	9.4	110	2021.9.17
			3.5	3.9	12	120	2022.9.2
		52	4.0	4.8	9.4	110	2021.9.17
			3.9	4.8	11	130	2022.9.16
		53	4.4	5.4	9.4	110	2021.9.17
			3.9	4.8	11	130	2022.9.16
		55	3.8	5.2	9.4	110	2021.9.17
			4.7	5.2	11	130	2022.9.16
	56	3.0	4.4	12.0	130	2023.1.7	
		3.5	4.9	12	110	2023.2.4	
	57	3.5	3.9	9.4	110	2021.9.17	
		3.0	5.2	11	120	2022.9.16	
	58	4.1	5.9	260	110	2021.9.17	
		3.7	3.4	31	130	2022.9.16	
	59	3.0	3.9	32	310	2021.9.17	
		3.8	4.4	26	280	2022.9.16	
	1号機	201	4.4	4.2	11	3,700	2023.1.31
			4.8	4.4	10	4,100	2023.2.7
202		3.9	4.6	10	200	2021.7.30	
		5.0	3.8	11	210	2022.7.20	
203		4.0	4.0	10	240	2023.1.14	
		4.8	5.0	10	130	2023.1.28	
204		4.8	4.7	10	370	2023.1.14	
		5.8	4.2	10	610	2023.1.28	
205		4.6	3.4	10	5,900	2023.1.28	
		5.1	4.2	12	6,300	2023.2.4	
206	4.6	3.8	10	370	2023.1.14		
	5.1	3.4	10	340	2023.1.28		
新設ビット	2号機	207	6.1	29	60	3,800	2023.1.25
			4.2	9	29	3,300	2023.2.8
	208	4.3	5	12	1,600	2023.2.1	
		3.3	4.6	18	1,600	2023.2.8	
3号機	209	5.6	4.3	12	120	2023.1.4	
		3.0	4.2	12	110	2023.2.4	
	210	4.4	4.8	11	110	2021.7.16	
		5.1	3.9	12	120	2022.9.2	
211	3.2	3.9	11	120	2021.7.16		
	4.0	3.9	12	120	2022.9.2		
4号機	212	4.5	5.4	9.4	110	2021.9.17	
		4.0	4.9	12	120	2022.9.2	
	213	3.8	4.3	9.4	110	2021.9.17	
		5.0	3.4	12	120	2022.9.2	
	214	5.5	37	45	130	2023.1.7	
4.6		37	58	180	2023.2.4		
215	2.8	3.9	9.4	110	2021.9.17		
	5.1	3.4	11	130	2022.9.16		
既設ビット	4号機	49	4.1	4.2	12	120	2023.2.1
			3.3	4.8	12	130	2023.2.8

中継タンクくみ上げ量

単位：m³

	サブレン						
	1	2	3	4	5	1~4号 汲み上げ量	5・6号 汲み上げ量
1/10	22	56	51	42	45	216	81
1/11	23	57	49	35	44	208	87
1/12	24	57	49	35	45	210	161
1/13	23	55	51	35	47	211	156
1/14	25	55	48	33	47	208	125
1/15	22	54	48	31	47	202	123
1/16	22	52	50	34	26	184	108
1/17	24	54	47	35	0	160	130
1/18	23	52	49	35	0	159	133
1/19	23	51	47	36	0	157	104
1/20	25	50	47	24	39	185	104
1/21	24	51	47	16	56	194	90
1/22	23	50	46	16	49	184	102
1/23	24	49	45	12	50	180	86
平均						190	114

No. 5 中継タンク
移送配管清掃のため、汲み上げ停止
(1/16~20)

(くみ上げ量は当日0時から24h)

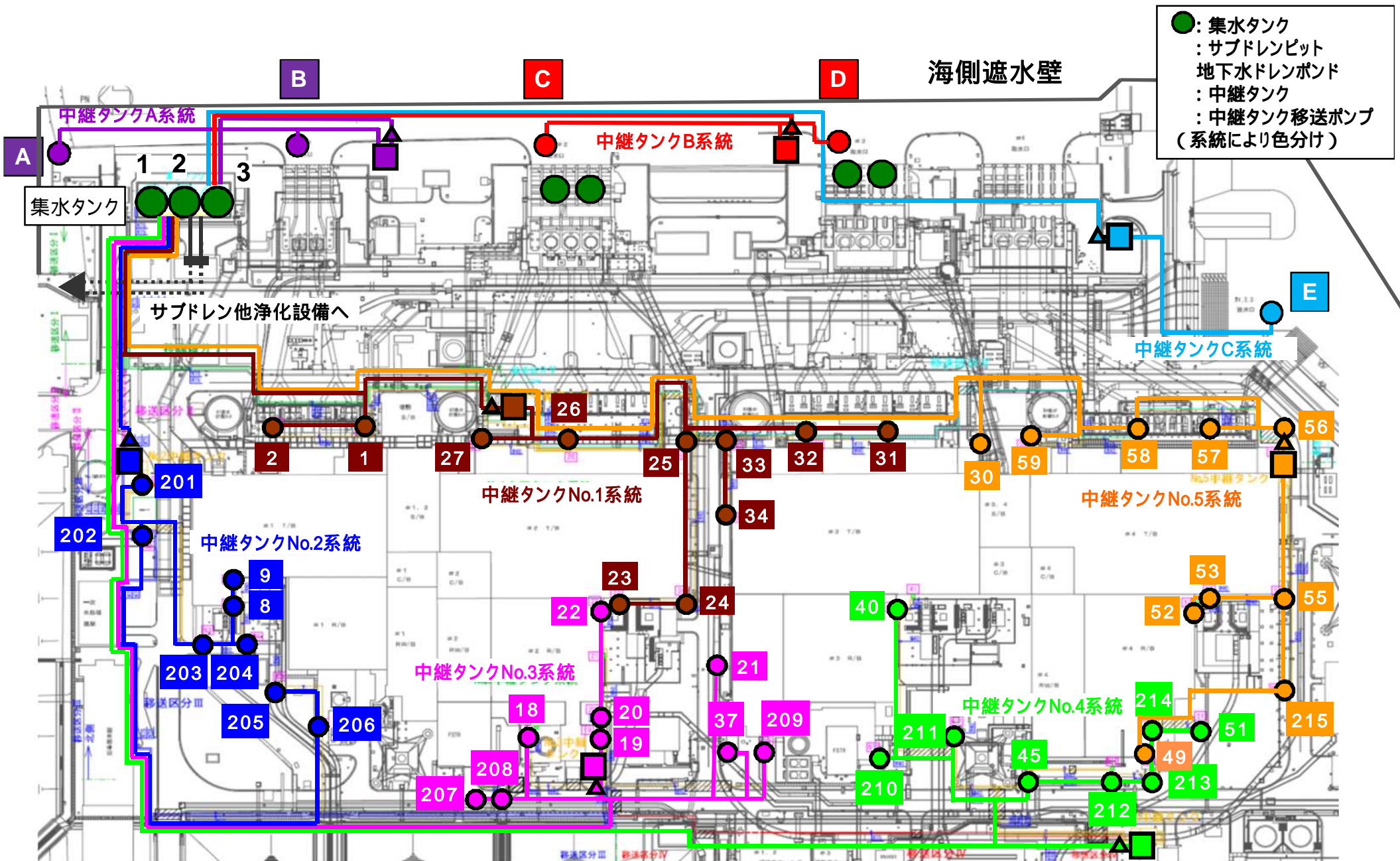
中継タンクくみ上げ量

単位：m³

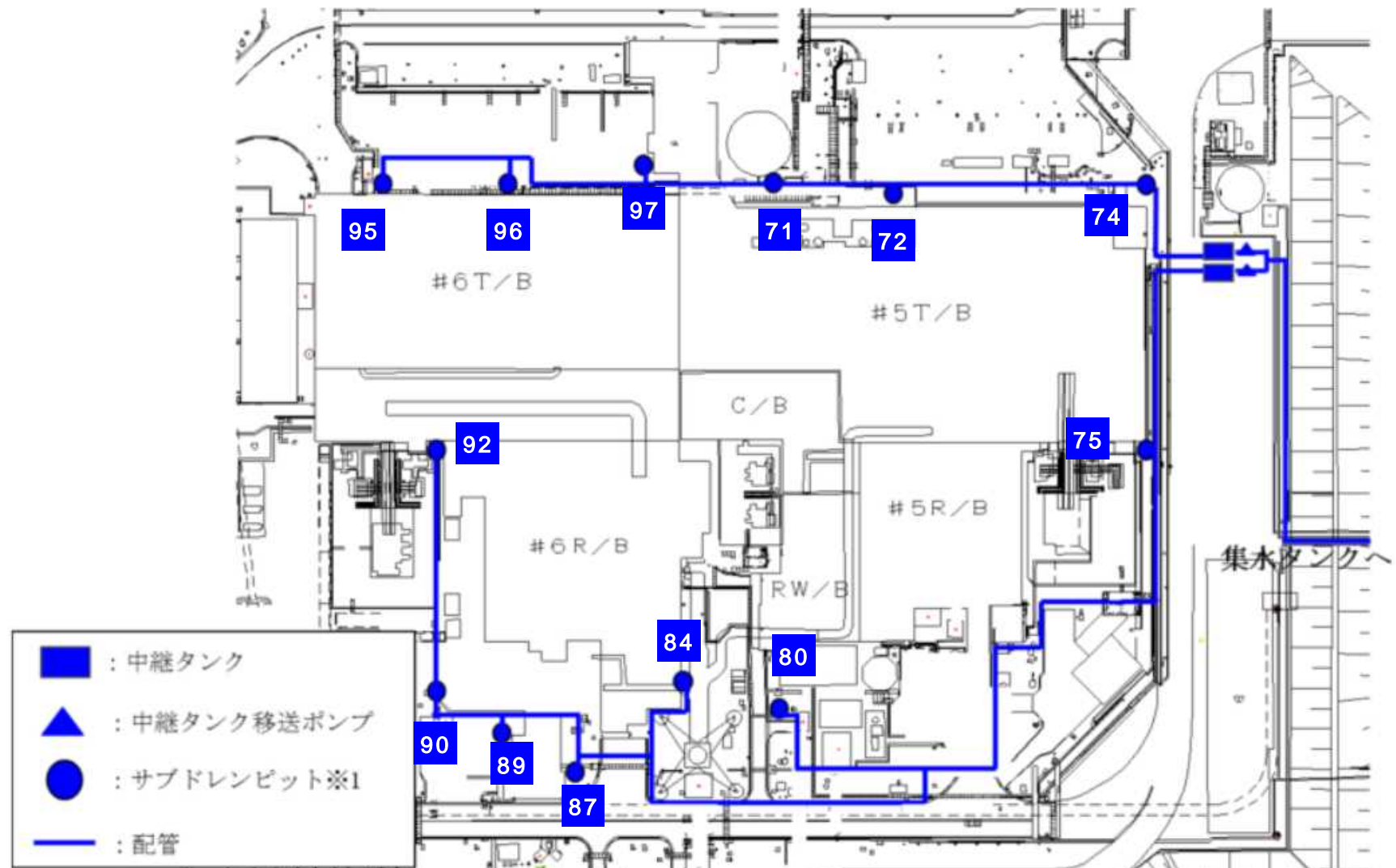
	サブドレン						
	1	2	3	4	5	1～4号 汲み上げ量	5・6号 汲み上げ量
1/24	25	49	46	11	50	181	107
1/25	20	41	45	12	49	167	97
1/26	20	43	43	60	58	224	107
1/27	21	44	44	98	52	259	106
1/28	21	49	42	90	48	250	110
1/29	19	48	43	83	45	238	105
1/30	21	37	42	84	43	227	106
1/31	22	38	40	75	40	215	141
2/1	20	39	42	73	40	214	138
2/2	21	46	40	72	39	218	134
2/3	20	43	40	69	38	210	127
2/4	19	44	39	67	38	207	120
2/5	21	44	40	61	35	201	107
2/6	18	43	37	55	36	189	111
平均						214	115

(くみ上げ量は当日0時から24h)

【参考1】サブドレン・地下水ドレン 中継タンク系統図



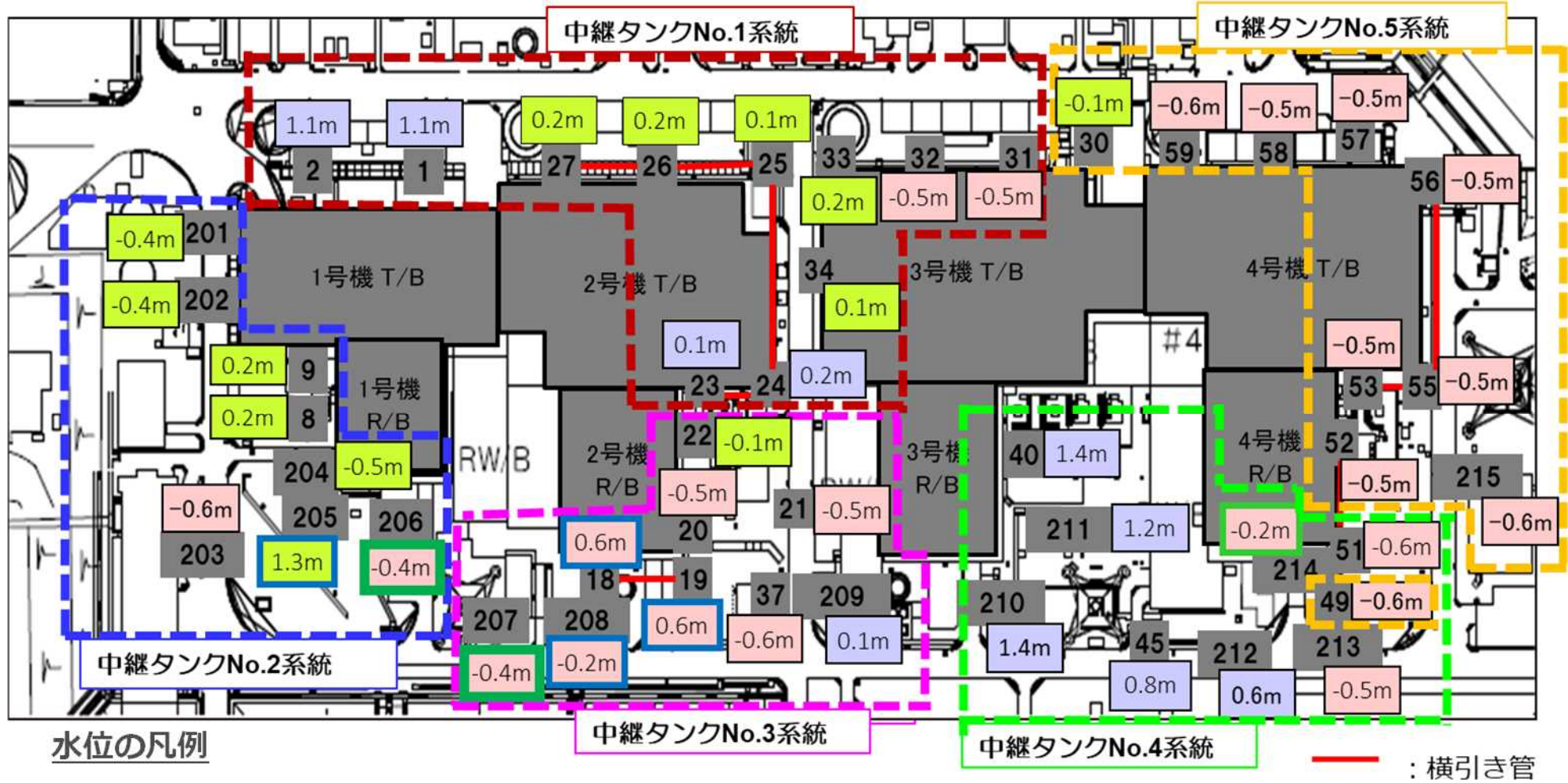
1 揚水ポンプおよび水位計は、サブドレンピット内部に設置されている。(揚水ポンプ：各ピットに1台ずつ、計46台、水位計：各ピットに2台ずつ、計92台)



※1揚水ポンプと水位計は、サブドレンピット内部に設置されている。(揚水ポンプ：各ピットに1台ずつ、計13台、水位計：各ピットに1台ずつ、計13台)

図-9 サブドレン集水設備系統図(5・6号機)

【参考】サブドレン水位の状況について (2023.2.7.12時時点)



- : 連続稼働中 (大口径ピットの設定水位 -0.65 ~ -0.45 m)
(23基/46基) [うち、設定水位より高めのピットは朱書き (0基)]
- : 短時間運転 (13基/46基)
- : 停止中 (10基/46基)
- : 未拡張用水位設定中。緑囲み (3基/46基)
- : 汲み上げ抑制・トリチウム濃度調査のため、高めの水位設定。青囲み (4基/46基)

保全計画予定

- ・揚水ポンプ清掃・交換
1/30 ~ 2/2 : No. 8揚水ポンプ交換
- ・中継タンクYストレーナ分解清掃
2/20 : No. 4中継タンク

減容処理設備の遮へいに関する使用前検査のうち、
集じん・排気室の遮へい（鉄）の扱いについて

TEPCO

東京電力ホールディングス株式会社

1. 確認事項

規制庁 検査課以下の指摘

実施計画書 減容処理設備に係る確認事項のうち、遮へいの材料確認に集じん・排気室の材料に関して記載がない。材料確認は実施できるのか？審査課に確認すること。

当社の考えは以下の通り。

遮へいの記載については、工事計画に係る手続きガイドには管理区域と非管理区域の境界を構成する箇所を記載範囲としており、これを参考に実施計画書を作成したことから使用前検査の対象と考えていなかった。よって検査対象外と考えている。

現在、屋外一時保管をしている瓦礫類は、2028年度までに固体廃棄物貯蔵庫に保管するため、減容処理設備を導入し減容処理することを目的としている。

本設備を本年5月に運用開始し、2028年度末までの屋外保管解消に影響を及ぼさないようにする。

参考1. 検査方法（案）

実施計画の変更をせず検査を実施する方法としての案は以下の通り。

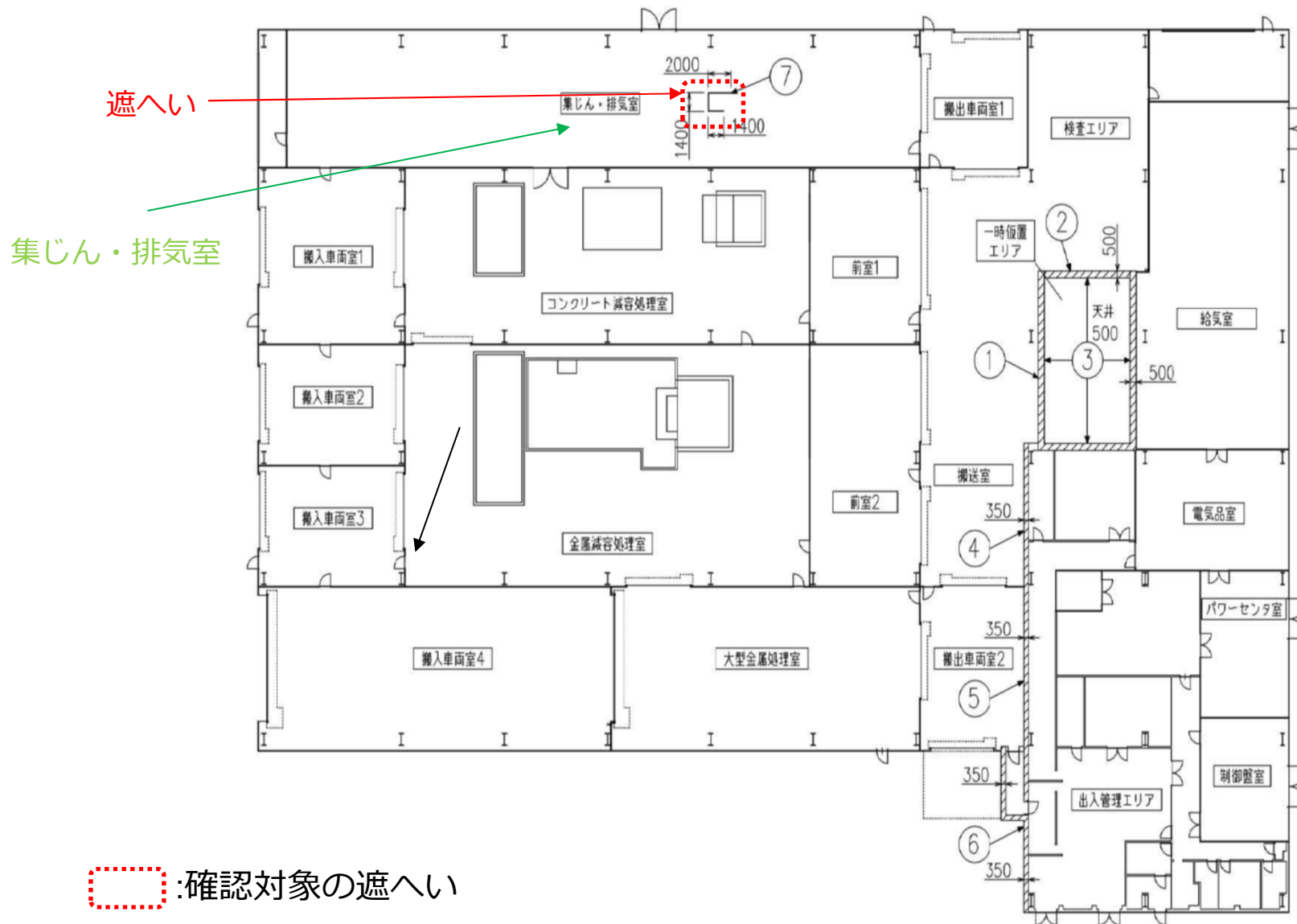
- 実施計画「2.46 減容処理設備」添付資料14に遮へい材料に関する記述がある。確認事項に記載はないが、この内容がそのまま材料検査の判定基準となるため検査は可能と考えている。
- 上記が難しいという判断となれば、寸法検査のみを確認し、寸法検査の項目に材料を実施計画に記載する。

No.	種類		断面寸法		材料
			厚さ	高さ	
①	一時仮置エリア	東西南壁	500	5500	普通コンクリート (密度:2.15g/cm ³)
②		北垂壁	500	1500	
③		天井	500	—	
④	搬送室	東壁	350	3000	
⑤	搬出車両室 2	東壁	350		
⑥	出入管理エリア	西壁	350		
⑦	集じん・排気室	—	50	2000	鉄 (密度:7.8 g/cm ³)

注 1 : 寸法は, mm を示す。

図-1 遮へいに関する構造図 (1 / 2)

参考3. 遮へいに関する構造図（添付資料-14）



減容処理建屋の工事に係る確認事項を表-5 に示す。

表-5 減容処理建屋の工事に係る確認事項

確認事項	確認項目	確認内容	判定基準
遮へい機能	材料確認	コンクリートの乾燥単位容積質量を確認する。	2.15g/cm ³ 以上であること。
	寸法確認	遮へい部材の断面寸法を確認する。	遮へい部材の断面寸法が、実施計画に記載されている寸法以上であること。
構造強度	材料確認	コンクリートの圧縮強度を確認する。	コンクリートの強度が、実施計画に記載されている設計基準強度に対して、JASS 5N の基準を満足すること。
		鉄筋の材質、強度、化学成分を確認する。	JIS G 3112 に適合すること。
	寸法確認	コンクリート部材の断面寸法を確認する。	コンクリート部材の断面寸法が、JASS 5N の基準を満足すること。
	据付確認	鉄筋の径、間隔を確認する。	鉄筋の径、間隔が JASS 5N の基準を満足すること。

(2) 工事計画に記載すべき設備及び機器等の範囲

2) 設備及び機器等の記載要求範囲

L. 放射線管理施設 抜粋

生体遮蔽装置については、原子力発電所放射線遮へい設計規程（J E A C 4 6 1 5 - 2 0 0 8、日本電気協会）に定める遮蔽体の定義によるものとし、技術基準規則第38条、第53条、第74条及び第76条における被ばく評価において機能を期待するものを含める。なお、水は生体遮蔽装置に含めない。

ただし、補助遮蔽の要目表記載範囲は、管理区域と非管理区域の境界を構成する生体遮蔽装置とする。

M. 原子炉格納施設

原子炉格納容器安全設備については、外部から原子炉格納容器内に注水又はスプレーすることにより圧力又は温度の上昇を抑えるなど原

汚染水発生量低減対策について

- ・ サブドレン水位低下（水位監視手法見直し）
- ・ 1-4号タンク堰内雨水処理設備対象水の拡大

2023年2月17日

TEPCO

東京電力ホールディングス株式会社

- 至近の汚染水発生量の内訳は下記の通りであり、2025年の100m³/日以下に抑制を目標に既存の対策を進めている。
- 更なる汚染水発生量の抑制施策として、1-4号機建屋流入では局所止水について、現場調査・構外での試験を開始している。また、サブドレンの更なる水位低下に備えて、T/B建屋の床面露出を踏まえた水位監視の見直しを実施していく。
- その他移送量の抑制では、トレンチ等たまり水の処理計画を策定する。また、2020年度に発生した物揚げ場排水路のモニタ上昇時の水やフォールアウト由来のトレンチ等のたまり水を構内散水設備による浄化散水へ適用していく事を目指す。 **(朱書き部分が今回の議論内容)**

汚染水発生の要因 (項目)		2021年度 実績(m ³ /日)	今後の施策
①	建屋流入量 (雨水・地下水等の流入)	約100m ³ /日	<ul style="list-style-type: none"> ・屋根破損部補修 ・建屋周辺フェーシング ・サブドレン水位低下 (水位監視手法見直し) ・1-4号機建屋局所止水
②	T.P.+2.5m盤からの 建屋移送量	約10m ³ /日未満	<ul style="list-style-type: none"> ・運用水位の低下 (豪雨時の水位上昇余裕代確保 によるT/B建屋移送量抑制)
③	ALPS浄化時薬液注入量 ^{※2}	約10m ³ /日未満	<ul style="list-style-type: none"> ・確実な保全
④-1	廃炉作業に伴い 発生する移送量 ^{※3}	約10m ³ /日	<ul style="list-style-type: none"> ・設備の確実な運用管理 ・たまり水の処理計画の策定 ・1-4号タンク堰内雨水処理設備対象水の拡大
④-2	緊急的に移送した発生量	約10m ³ /日 (焼却工作建屋)	
汚染水発生量		約130m ³ /日	
参考	降水量 (mm)	1,572mm(4.3mm/日)	平均的な降雨 (3.9mm/日)

サブドレン水位低下 (水位監視手法見直し)

➤ 実施計画Ⅲ第1編 第11条の用語の定義変更

「建屋に貯留する滞留水」の対象の一部建屋について、対象に含まれることが読みづらいため、定義の記載を変更する。

➤ 実施計画Ⅲ第1編 第26条の記載内容変更

「建屋に貯留する滞留水」から除外された建屋の水位データ採取やサブドレンとの水位差比較の実施について、要否条件を明記し、不必要なデータ採取を防止する。

➤ 実施計画Ⅲ第1編 第11条の変更に伴い、実施計画Ⅱ「2.5汚染水処理設備等」「2.6滞留水を貯留している(滞留している場合を含む)建屋」の一部記載を変更する。また、実施計画Ⅲ第1編 第3編「1.7 1～4号機の滞留水とサブドレンの運転管理もついて」における排水完了エリアの運用目標値の設定について記載を追加する。

本変更は、措置を講ずべき事項の『Ⅲ. 特定原子力施設の保安のために措置を講ずべき事項』に該当するため、変更認可申請を希望する。

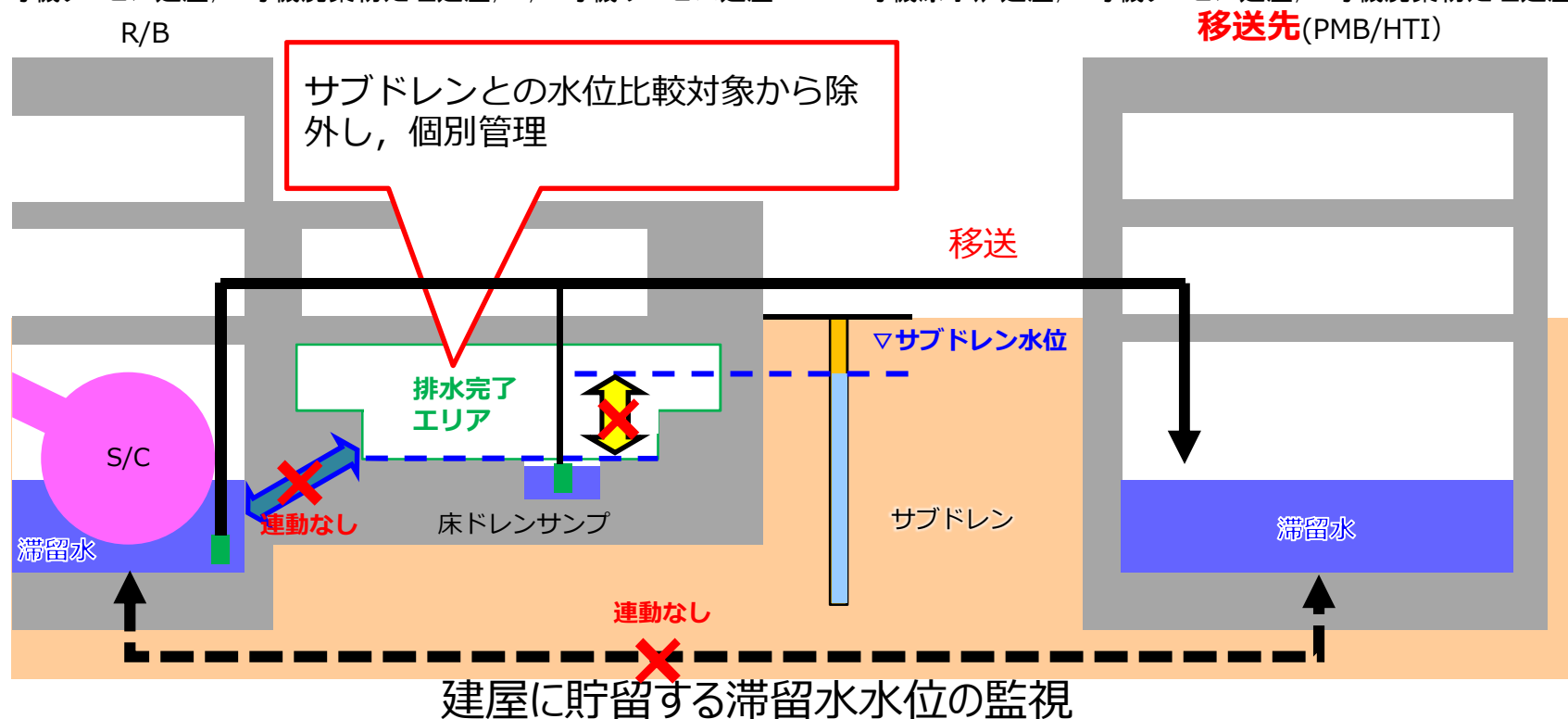
2. 措置を講ずべき事項への該当有無について

項目	評価内容
I. 全体工程及びリスク評価について講ずべき措置	本変更申請によって、廃炉措置全体工程及びリスク評価に影響を与えないため該当しない。
II. 設計、設備について措置を講ずべき事項	本変更申請によって、特定原子力施設の構造及び設備・工事の計画に影響を与えないため、該当しない。
III. 特定原子力施設の保安のために措置を講ずべき事項	措置を講ずべき事項の変更に該当する。 (実施計画3章第1編の用語における定義変更ならびに記載内容の変更)
IV. 特定核燃料物質の防護	本変更申請は、本項目に関する内容でないため該当しない。
V. 燃料デブリの取り出し・廃炉のために措置を講ずべき事項	本変更申請は、本項目に関する内容でないため該当しない。
VI. 実施計画を策定するにあたり考慮すべき事項	本変更申請は、既に策定された実施計画の変更であるため該当しない。
VII. 実施計画の実施に関する理解促進	本変更申請は、本項目に関する内容でないため該当しない。
VIII. 実施計画に係わる検査の受検	本変更申請は、本項目に関する内容でないため該当しない。

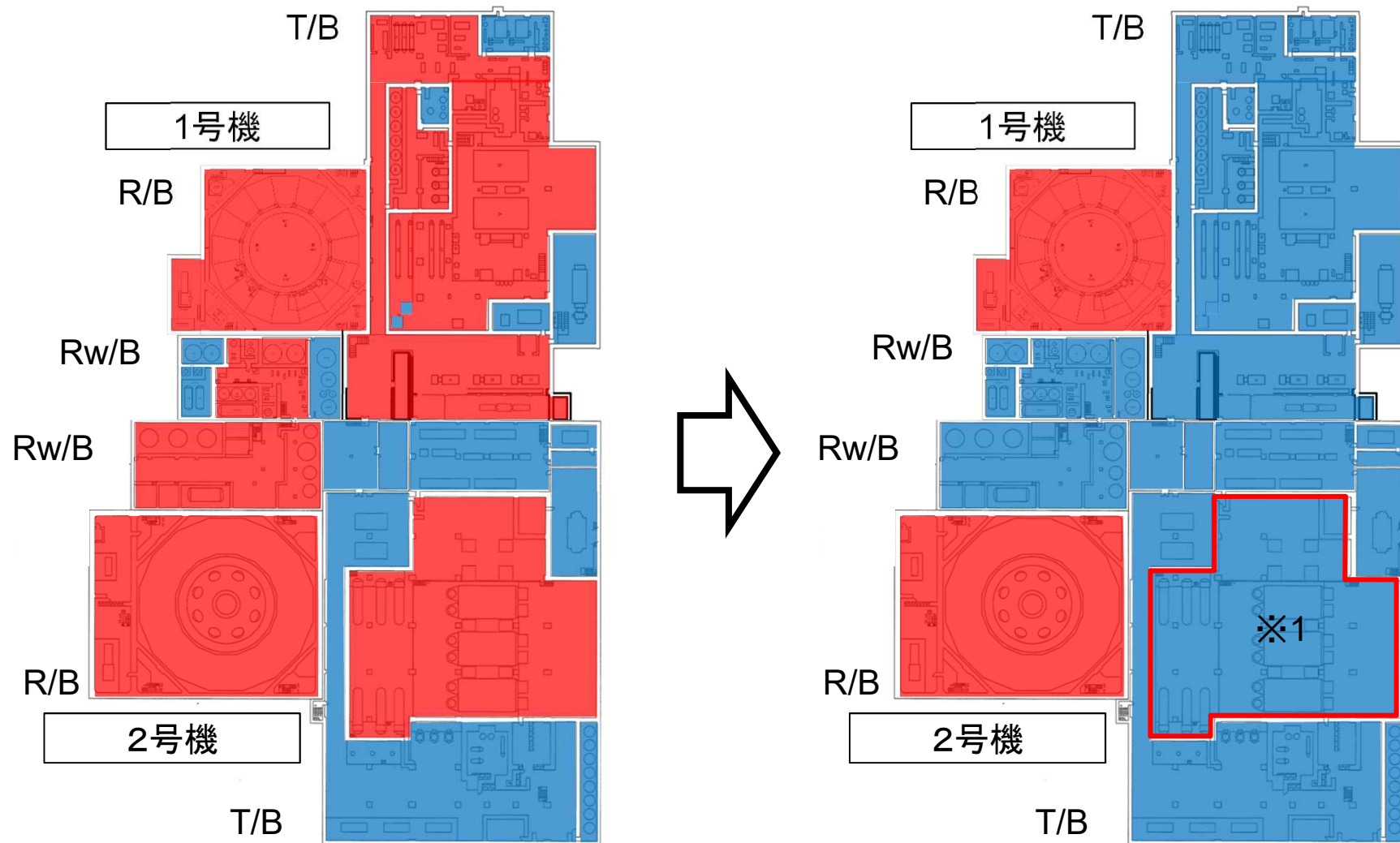
- 水位管理エリアの個別管理の拡大及びサブドレン水位の更なる低下を目的として、床面露出しているT/B他※について水位監視の見直しを実施していく。
- 現在、床面露出しているT/B他※については、1～3号機R/Bの水位より十分高い床面レベルであり連動が切れている状態である。また、雨水や地下水起因による建屋内への流入はあるが、1～3号機R/Bの高濃度滞留水が流入する可能性が低いため、排水完了エリアとして管理していく。
- なお、当該エリアの系外漏えいを抑制するため、これまでと同様な対応を継続することとし、大雨予報時には事前にサブドレン水位を上昇させ、当該エリアに水位が形成された際にサブドレン水位との逆転を防ぐと共に、速やかに排水を実施していく。

※: 1号機タービン建屋, 1号機廃棄物処理建屋
 3号機タービン建屋, 3号機廃棄物処理建屋, 3, 4号機サービス建屋

2号機タービン建屋, 2号機廃棄物処理建屋
 4号機原子炉建屋, 4号機タービン建屋, 4号機廃棄物処理建屋



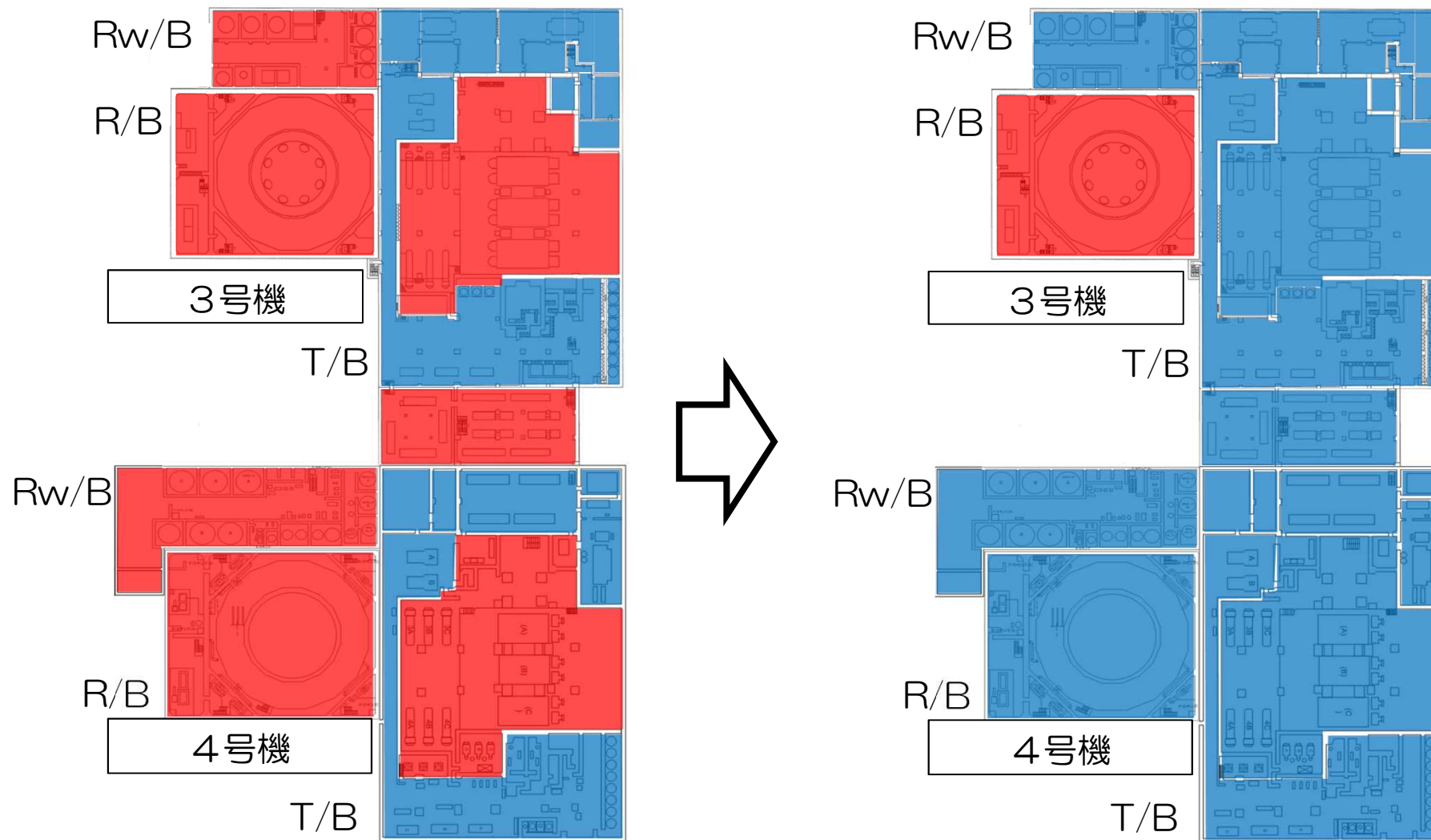
【参考】運用開始以降の管理エリアの変更イメージ（1 / 2号機）



※1 地下水、雨水の流入があるため、対策を施した後に排水完了エリアに貯留する残水へ変更予定
なお、溜まった水については適宜移送を実施中

■ : 建屋に貯留する滞留水
■ : 排水完了エリアに貯留する残水

【参考】運用開始以降の管理エリアの変更イメージ（3 / 4号機）



■ : 建屋に貯留する滞留水
■ : 排水完了エリアに貯留する残水

1-4号タンク堰内雨水処理設備 対象水の拡大

■ 経緯

- 2021年3月2日 : 物揚場排水路に設置しているPSFモニタの高警報発生
 - : 物揚場排水路ゲート閉鎖
 - : 物揚場排水路の排水をタンクエリア内堰へ移送開始
- 2021年3月9日 : 物揚場排水路ゲート開放
- 2021年3月23日 : タンクエリア内堰貯留水をPMB/HTIへ移送完了
(物揚場排水路排水 : 約2,600m³ 堰内雨水 : 約900m³)

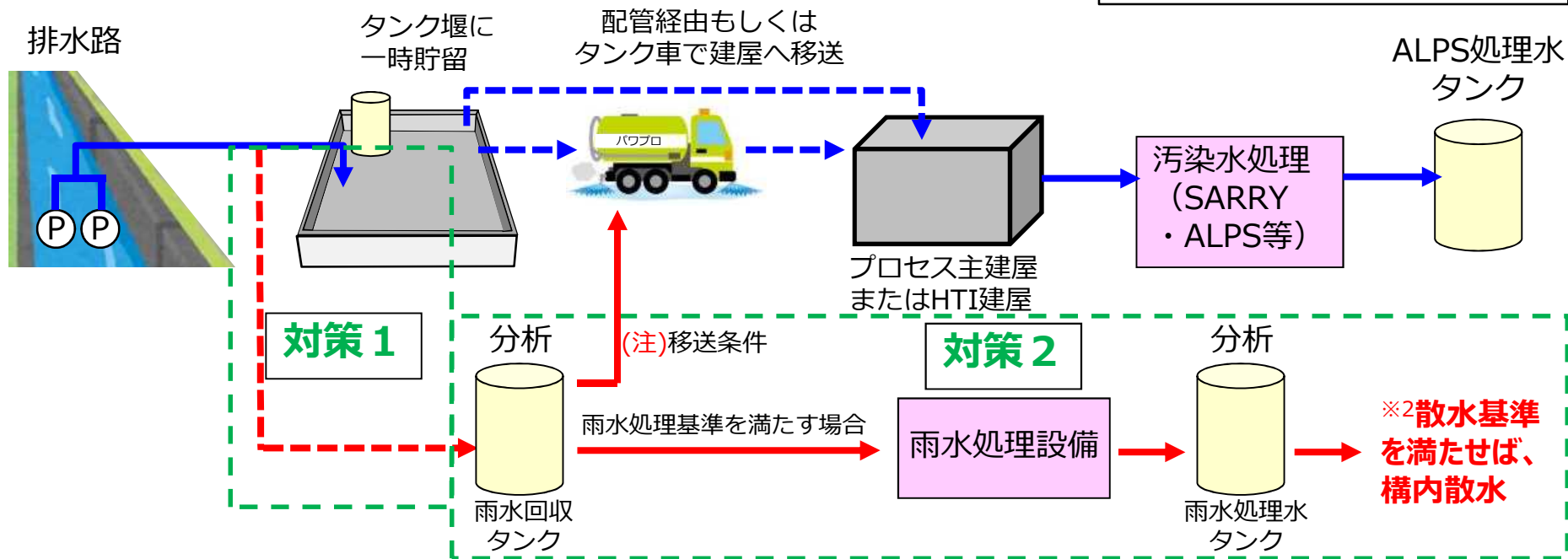
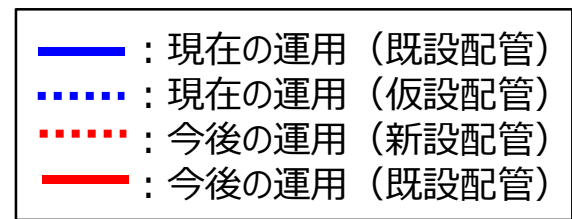
■ 課題

1. タンク堰内はタンク漏えい水を受ける場所であり、排水路の汚染水を受け入れる場所ではないが、**緊急対応として一時貯留**。
2. 物揚場排水路貯留水および元々堰内に溜まっていた雨水、合計3,500m³をPMBへ移送している。⇒汚染水発生量が**3,500m³増加(物揚場 : 約2,600m³ 堰内雨水 : 約900m³)**

■ 対策

1. 物揚場排水路から雨水回収タンクまでの移送配管を設置し、同様な事象が発生した場合、**タンク堰に貯留せずともPMB/HTIへ移送出来る設備を構築**する。
2. 上記対策により、堰内雨水との混水を避ける事が出来るため、その分の汚染水発生量を抑制することが出来る。(上記事象であれば、約900m³の抑制)
また、雨水処理設備にて処理が可能な濃度帯であれば、**雨水処理を行い構内散水することで更なる汚染水発生量の低減**につなげる。(上記事象であれば、約2,600m³の抑制)

- 対策
1. 排水路から雨水回収タンクへの移送配管の設置
 2. 雨水処理設備対象水の追加



【(注)プロセス主建屋またはHTI建屋への移送条件】
 ①雨水処理基準※1を超過した場合
 ②排水路からの受入中にタンク貯留量を超える場合

※1雨水処理基準：100,000Bq/L未満
 ※2散水基準：主要核種の告示濃度限度比の和が0.21以下

■ 対策1：移送配管（実施計画対象外）

- 現状、排水路からタンク堰までの移送配管は「緊急時移送設備」として、実施計画対象外としている。
- 原子力規制庁殿より、「タンクエリアの堰に排水路からの汲み上げ水を貯留するのは、望ましい姿ではない」とのご指摘を受けている。ついては、堰の手前～堰内雨水用のタンクまで移送する配管を上記と同じく「緊急時移送設備」として設置し、堰ではなくタンクに貯留できる設備を構築したい。

■ 対策2：タンク堰内雨水処理設備の対象追加（実施計画対象）

- 現状、実施計画【Ⅱ-2-36（雨水処理設備等）】の処理対象水としては、『汚染水タンクエリアの堰内に溜まった雨水』を対象水としており、排水路の汲上げ水を処理できる記載となっていないため、処理が可能となるように記載を見直したい。
- 本変更は、措置を講ずべき事項の『Ⅱ. 設計、設備について措置を講ずべき事項』に該当するため、変更認可申請を希望する。
- また、上記記載見直しにより、放射性物質濃度が低い構内溜まり水（トレンチ内の溜まり水等も、同様に雨水処理設備で処理したいと考えている。

3. 措置を講ずべき事項への該当有無について

項目	評価内容
I. 全体工程及びリスク評価について講ずべき措置	本変更申請によって、廃炉措置全体工程及びリスク評価に影響を与えないため該当しない。
II. 設計、設備について措置を講ずべき事項	措置を講ずべき事項の変更に該当する。 (実施計画2章第36編における記載の変更)
III. 特定原子力施設の保安のために措置を講ずべき事項	本変更申請は、本項目に関する内容でないため該当しない。
IV. 特定核燃料物質の防護	本変更申請は、本項目に関する内容でないため該当しない。
V. 燃料デブリの取り出し・廃炉のために措置を講ずべき事項	本変更申請は、本項目に関する内容でないため該当しない。
VI. 実施計画を策定するにあたり考慮すべき事項	本変更申請は、既に策定された実施計画の変更であるため該当しない。
VII. 実施計画の実施に関する理解促進	実施計画の実施に関する理解促進に該当する。 (雨水処理設備対象水の追加は、地域住民地元自治体等へ幅広く情報共有する必要有)
VIII. 実施計画に係わる検査の受検	本変更申請は、本項目に関する内容でないため該当しない。

【参考】 1～4号機建屋周辺トレンチ等たまり水の状況①

- 溜まり水が確認された1～4号機周辺のトレンチのうち、Cs-137濃度が告示濃度（90Bq/L）を上回っているトレンチが10設備確認されている。
- 濃度が高い個所から順次、たまり水を除去の上、閉塞していく予定。

番号	場所	水量(m3)	Cs-137濃度(Bq/L)
1-3	1号機放射性流体用配管ダクト	4	8.3E+03
1-26	3号機オフガス配管ダクト(南側)	9	1.3E+03
1-17	2号機電源ケーブルトレンチ	1	9.0E+02
1-27	重油配管トレンチ(3, 4号機東側)	5	5.7E+02
1-21	3号機起動用変圧器ケーブルダクト	828	4.0E+02
2-8	1号機起動用変圧器ケーブルダクト	292	2.5E+02
1-19	NO. 2軽油配管トレンチ	15	1.9E+02
2-7	1号機主変圧器ケーブルダクト	518	1.8E+02
1-9	1号機コントロールケーブルダクト	167	1.4E+02
1-12	2～4号機DG連絡ダクト	1,595	9.3E+01

2023年度上期から
PMBIに水移送し閉塞を計画

2023年度下期以降
周辺作業と調整の上
対策検討予定

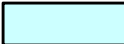
建屋接続トレンチ

【参考】 1～4号機建屋周辺トレンチ等たまり水の状況②

- Cs-137濃度が告示濃度（90Bq/L）未満のトレンチ： 9設備 水量 約2,600m³

番号	場所	水量(m ³)	Cs-137濃度(Bq/L)
2-31	No4, 5軽油配管トレンチ	45	5.6E+01
2-23	3号機主変圧器ケーブルダクト	474	5.2E+01
2-14	2号機主変圧器ケーブルダクト	604	4.3E+01
1-6	1号機海水配管トレンチ	408	4.1E+01
2-15	2号機変圧器防災用トレンチ	11	3.5E+01
2-6	重油配管トレンチ(1号機東側)	6	2.8E+01
2-29	4号機主変圧器ケーブルダクト	828	2.3E+01
2-12	1号機活性炭ホールドアップダクト	221	1.7E+01
2-36	消火配管トレンチ(SPT建屋北側)	14	1.1E+01
	計	2,611	

※立坑のみ。水平部は閉塞済

 建屋接続トレンチ

- 放水路（出口閉塞済み）：水量 約13,900m³

番号	場所	水量(m ³)	Cs-137濃度(Bq/L)
2-追加5	1号機放水路	5,219	2.3E+03
2-追加6	2号機放水路	5,352	8.7E+02
2-追加7	3号機放水路	3,355	5.9E+02
	計	13,926	

今後、他核種も分析の上、フォールアウト由来であることを確認の上、監視を継続していく予定。

変更前	変更後
<p>2.36 雨水処理設備等</p> <p>2.36.1 基本設計</p> <p>2.36.1.1 設置の目的 汚染水タンクエリアの堰内に溜まった雨水のうち、その放射能濃度が排水基準を上回るものについて逆浸透膜を利用し、処理することを目的とする。</p> <p>2.36.1.2 要求される機能 (1)雨水処理設備等は、雨水の処理、貯留および管理等を行い、放射性物質の放射能濃度を低減し、排水する能力を有すること。</p>	<p>2.36 雨水処理設備等</p> <p>2.36.1 基本設計</p> <p>2.36.1.1 設置の目的 汚染水タンクエリアの堰内に溜まった雨水のうち、その放射能濃度が排水基準を上回るものについて逆浸透膜を利用し、処理することを目的とする。 また、低濃度の構内溜まり水(雨水処理設備で処理可能な濃度域)についても同様の処理を行う。</p> <p>2.36.1.2 要求される機能 (1)雨水処理設備等は、雨水および低濃度の構内溜まり水(雨水処理設備で処理可能な濃度域)の処理、貯留および管理等を行い、放射性物質の放射能濃度を低減し、排水する能力を有すること。</p>